

國

語

教科 国語	種目 国語	番号 2	略称 東書	書名 新しい国語
-------	-------	------	-------	----------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 单元ごとに学習を通して育成する資質・能力を「言葉の力」として明確化し、重点的な学習によって着実に身につける配列の工夫がある。</p> <p>イ 「言葉相談室」では語彙と文法に特化した学習ページが設置されている。</p> <p>ウ 2年生以上で、四季折々の自然や風物を表現した詩歌に触れる「季節の足音」というページが設置されている。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「情報のとびら」が新設されている。「読むこと」「書くこと」の橋渡しをして習得と活用を促している。</p> <p>イ 2年生以上の学年では、国語のノートの作り方の例が示されており、学んだことを振り返ることができる。</p> <p>ウ 1年生の入門期の教材では、他者と対話することの楽しさを学べる構成になっている。</p> <p>エ 巻末の「言葉の広場」には、語彙力や表現力を高める言葉が多くの観点からまとめられている。（3年上 P154-155）</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各学年の「本は友達」では、本の紹介だけでなく、記録の残し方や読書の幅を広げるような内容が掲載されている。单元末には、発展読書教材として「こんな本もいっしょに」が示されている。</p> <p>イ 説明動画を視聴することで、児童が自分で学習を進められるような二次元コードが掲載されている。（3年上 P120）</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1～4年は上下巻。5、6年は1冊。</p> <p>イ 「読むこと」と「書くこと」が連携して指導できる单元配列になっている。</p> <p>ウ 各領域の単元の学習の流れを「見通す」「取り組む」「振り返る」の課題解決的な3ステップで構成され、資質・能力が育成されるよう配列されている。</p> <p>エ 単元のはじめに二次元コードが付され、前学年の学習の要点を振り返ることができる。（3年上 P16）</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 国際理解教育の観点から、外国の児童の挿絵や名前が記載されている。（1年上 P1、P9）</p> <p>イ 特別支援教育への配慮として、文字と音が一対一対応しない特殊音節で手を打ちながら言葉と音で対応するようにしている。</p> <p>ウ 文学的文章、説明的文章教材では、5行ごとの行数字の間に1行ごとの点を示すことで、特定の行を見付けやすい工夫がされている。（3年上 P19）</p> <p>エ 点字の表（凹凸あり）が3年下に入っている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア ローマ字の学習が3、4年にある。5、6年の巻末にもローマ字表が入っている。</p> <p>イ 巻末付録の「デジタル資料を活用しよう」において、二次元コードを読み取ると、資料を見ることができるようになっている。（3年上 P150-151）</p> <p>ウ 国語ノートの作り方に加え、デジタルノートの作り方が紹介されている。（3年上 P10-13）</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGs、防災、情報社会への対応等、今日的課題を扱う教材、題材が採用されている。（6年 P62-67、P90-100、P152-166）</p> <p>イ 特設コラム「未来を生きる君へ」の各界の著名人メッセージがある。</p>

教科 国語	種目 国語	番号 17	略称 教出	書名 ひろがる言葉 小学国語
-------	-------	-------	-------	----------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「言葉の文化」「言葉の広場」「漢字の広場」、巻末の「言葉の木」といった言語的な知識を深められるような特設ページがある。 イ 「ここが大事」は教材の重点指導事項に対応している。 ウ 巻末付録に「言葉の道具箱」が設けられており、各単元で学んだ言葉や学習用語等がわかるよう工夫されている。（3 年上 P144-151）
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」の課題解決的な4ステップで構成されており、見通しがもてる。 イ 「ひろがる言葉 ○年生で学ぶこと」で1年間、何を学び、どんな力を付けるのか俯瞰し、見通すことができるように設定されている。 ウ 説明的文章で練習教材があり、そこで身に付けた指導事項を本教材で生かす構成となっている。（3 年上 P45-57）
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 巻末に、学年で読みたい本が紹介されている。興味関心を持たせる紹介の仕方になっている。 イ 「見通しをもとう」ページには、上段に学習活動、下段に学習を支える思考ツールや図解が掲載されている。（例 5 年上 P28、P52）
配列への配慮と工夫等 内容の構成	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 全学年上下巻の二分冊。 イ 上巻「つながる ひろがる」下巻「これまで これから」で学習内容を振り返る機会が設けられている。（3 年上 P138、3 年下 P124） ウ 伝統的な言語文化に親しむ「読む」「書く」が1つの単元となっている。（6 年上 P24） エ 他教科の学習との関連が示され、活用につなげられるよう工夫されている。（3 年上 P102-109、4 年上 P58-65）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア イラストで、外国人、車いすの子ども、ランドセルの色等、多様性への配慮が見られる。（1 年上 P4-5） イ 領域ごとにテーマカラーが使われている。 ウ 障がいのある方へのよりよいかかわり方について学んだり、手話や点字（凹凸あり）を学んだりできる工夫がなされている。（4 年下 P81）
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア ローマ字の学習が、3年の上巻の1単元のみになっているが、ローマ字を使ってコンピューターを操作する内容が含まれている。 イ 学習に役立つ情報を二次元コードを使い、ウェブサイトにつなぎ、教科書と関連した情報を取り出すことができる。 ウ 4 年上の巻末（P153）に「電子メールで伝え合う」を設け、情報モラルについて学ぶ付録がある。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア AI との暮らし、SDGs、ESD、世界遺産、防災等今日的な課題が取り上げられている。（5 年上 P116-121、5 年下 P8-21、6 年上 P35-61 等） イ ふるさとキャリア教育に関連する教材が設定されている。（3 年下 P74-79） ウ 1 年では絵本の絵が掲載されており、スタートカリキュラムが意識されている。（1 年上 P10-13）

教科 国語	種目 国語	番号 38	略称 光村	書名 小学校国語
-------	-------	-------	-------	----------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 脚注の新出漢字は四角で囲み、○印を付け、3年生以降では、新出箇所、小学校で学ぶ全ての読み方が掲載されている。</p> <p>イ 思考や表現の助けとして、巻末の付録に「言葉の宝箱」のページを設け、学年に応じた使いたい語彙を示している。</p> <p>ウ 2年以上では、「きせつの言葉」として、四季に関連する語彙指導が季節ごとに設定されている。(3年上 P42-43、P104-105)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 文学教材として取り上げられる作品が、名作や様々なジャンル(SF、ミステリー、翻訳小説など、多様な作品が取り上げられている。</p> <p>イ 関連する同じ作者の作品が巻末に取り上げ、読みを広げるなど活用する場が設けられている。</p> <p>ウ 説明的文章で練習教材があり、そこで身に付けた指導事項を本教材で生かす構成となっている。(3年上 P53-65)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「話す・聞く」「書く」教材では、考えを交流、問題意識を共有、協働で解決するなど、主体的に人とかかわる教材が準備されている。</p> <p>イ 「えらんで読み深めよう」など選択課題を設けたり、考えるための観点を複数示したりして、個別最適な学びが準備されている。</p> <p>ウ 説明動画を視聴することで、児童が自分で学習できるよう二次元コードが掲載されている。(3年上 P38)</p>
配列への配慮と工夫等 内容の構成	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1～4年が上下分冊、5・6年が学年1冊の構成となっている。</p> <p>イ 巻頭に「国語の学びを見わたそう」を設け、学びの流れを視覚化している。本年度と前年度の学習内容のつながりが提示されている。</p> <p>ウ 「いかそう」においては、他教科や日常に生かすヒントが提示されている。(3年上 P102)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 「おはなし ききたいな」のイラストで、肌や髪の色、車いすなど多様性への配慮が見られる。(1年上 P10-11)</p> <p>イ 裏表紙の二次元コードには「学校で使う日本語」に関するコンテンツが掲載され、外国人児童への配慮がなされている。</p> <p>ウ 付録として、点字と手話について説明し、点字の表(凹凸あり)が入っている。(5年 P256 - 257)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア ローマ字の学習は、3年生と4年生に単元設定されている。</p> <p>イ プログラミング的思考に関連する単元が設定されている。(6年 P278-279)</p> <p>ウ 「情報」教材を年間2か所に設定され、各領域の学習と関連させている(6年 P65 - P74)</p> <p>エ 「デジタル機器と私たち」(6年 P76)では、よりよくメディアと付き合うための提案文章を書く単元が設けられている。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 2年～6年の巻末に「SDGsの達成に向けて」を設け、発達段階に応じた図書が紹介されている。</p> <p>イ ふるさとキャリア教育に関連する教材が設定されている。(3年上 P98-102、6年 P48-51等)</p>

書 寫

教科 国語	種目 書写	番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい書写
-------	-------	------	-------	-------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 学習用語や文字を整えるポイントが「書写のかぎ」として全学年において示されている。 （3年 P12 等） イ 巻末に、今までの学年の既習事項が全て掲載してある。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア クイズ形式で、整っている文字について考えさせようとしている。（3年 P12 等）
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 全学年で書写の学ぶ順番が、①②③振り返ろうで示してある。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 巻頭に6年間の学びの内容をインデックスで表している。（3年生以上巻頭） イ 「生活に広げよう」やリンクマークで、国語や他教科と連動させた言語活動等が紹介されている。（3年 P26 等）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 1年「かきやすい もちかた」において、左利きと右利きの両方が実物大で掲載されており、動画も利用できる。（1年 P4） イ カラーUD で配色に工夫するなど、色覚の多様性に配慮している。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 基本単元の導入にQRコンテンツでアニメーションを見ることができる。また、3年生以上では、シミュレーションや毛筆の運筆動画も視聴することができる。（3年 P13 等）
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「文字といっしょに」のコーナーで、伝統文化にふれる設定がなされている。 （3年 P36、4年 P34、5年 P32、6年 P32）

教科 国語	種目 書写	番号 17	略称 教出	書名 小学 書写
-------	-------	-------	-------	----------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア めあてが大きく掲載しており、「ふり返ろう」では、振り返りの視点が具体的に示してある。(1年 P10) イ 1年生で「消しゴムの使い方」を扱っている。(P5)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「試し書き」と「まとめ書き」を比べることで、学習の成果を自己評価できるようになっている。(3年 P15) イ 4年～6年「伝え合おう」というコーナーや「ふり返り」の中で友達と伝え合う場が設定されている。(4年 P17等) ウ 3年生以上の学年の「学習のまとめ」の中で、自分のめあてが設定できるようになっている。(3年 P43等)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「目次」の下に、1年間で学習する内容が具体的に掲載され、1年間の学習内容が見通せるようになっている。(3年 P4等) イ 3年巻頭「なぜ毛筆を学習するの？」4年巻頭「知りたいな！手書き文字のよさ」が漫画で示されており書写のねらいを捉えられるよう配慮されている。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 「レッツトライ」「書いて伝え合おう」では、書写で学習したことが他教科や生活の場で生かせるようにしてある。(教科の幅が広い) (3年 P23等)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア めあてがUDフォントで書かれている。(3年 P14等) イ 5年生の巻末に「世界のあいさつ」が掲載されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 「まなびのリンク」としてQRコードが掲載しており、学習に役立つサイトを見ることができるようになっている。(1年のみワークシートも付いている。)(1年 P2参照)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 高学年の教科書で、SDGsのロゴやアイコンが示され、言葉とSDGsの目標との関係が示されており、書写を通して社会とのつながりを考えられるように工夫されている。(6年 P30、31等)

教科 国語	種目 書写	番号 38	略称 光村	書名 書写
-------	-------	-------	-------	-------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア ねらいや学習の進め方、大切なことが毎時間同じような場所に掲載してあり、見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。（3年 P16 等） イ ねらいが達成できたかどうかを振り返ることができるようになっている。（1年 P12 等） ウ 硬筆のスタートになる1年生と、毛筆のスタートとなる3年生に「スタートブック」がついていて、丁寧に指導できるようになっている。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「なぞとき」など、文字のバランスについて考えさせるページが設けてある。（3年 P40 等） イ スタートブックの中で、友達と作品を評価し合う姿が掲載されている。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「もっと知りたい」コーナーで、文字に対する興味関心を持てるようになっている。（3年 P52 等）
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 6年生では「書写ブック」で、6年間で学習したことを振り返ることができる。（6年 P21） イ 2年生以上では、1年間で学習したことを振り返ることができる「学年のまとめ」がついている。（3年 P48～P49 等） ウ 5年生で「6年生を送る会に向けて」6年生で「運動会のスローガンについてのポスター」など、学習したことが学校行事に生かせるようになっている。（5年 P34 等）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 学習のねらいの中心が大きく書いてあり、大切なことがひと目で分かるようになっている。（3年 P30 等） イ 毛筆スタートの3年生では、「準備」「かたづけ」「姿勢」が1ページずつ大きく掲載してある。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア タブレットを扱うときの姿勢について取り上げている。（3年 P10 等）
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 4年生にSDGsブックをつけて、ゴミ問題を取り扱っている。（P21） イ 4年生で「ぼうさいマップ」を取り上げ、町の安全について考えさせている。（P30） ウ 6年生で筆記用具のユニバーサルデザインについて扱っている。（P20）

社 会

教科 社会	種目 社会	番号 2	略称 東書	書名 新しい社会
-------	-------	------	-------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てるようにしている。 (3年P13「公共施設」4年P99「文化財」等)</p> <p>イ 「まなび方コーナー」を設け、学習技能を系統的に習得できるようにしている。(5年下P110「図にまとめる」等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「まとめる」活動では、文章でまとめる、討論する、説明するなどの多様な表現活動を提示し、思考力・判断力・表現力等を育成できるようにしている。 (5年上P106プレゼンテーション 6年P22・23新聞等)</p> <p>イ 「いかす」場面では、実生活や実社会に参画・提案することができるよう、児童自身が選択・判断できる学習材料を充実させている。(4年P88, 89「マイ・タイムライン」)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 発展や比較、補充など柔軟に扱うことができる「ひろげる」のページを設けている。(3年P84 6年歴史編P35等)</p> <p>イ 見通しを持って学習が進められるように「まなびのポイント」例示している。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 教科関連マークを設け、関連する他教科の内容を示すようにしている。(3年P77「世界のさまざまな国と国旗」)</p> <p>イ 巻頭に前学年で学んだことと、当該学年で学ぶことが並列して掲載されている。 (3年P4生活科で学んだことP5 3年で学ぶこと)</p> <p>ウ 各学年の巻末では、1年間で学んだ内容を、要点を押さえながら振り返りができるようにしている。6年では、中学校社会科の学習内容を示した「中学校に向けて」が掲載されている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 児童キャラクターやイラストに性別の偏りがないように配慮されている。</p> <p>イ 図表などは、色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮してある。(4年P43「金沢市の水道の広がり」)</p> <p>ウ 本文は可読性の高い独自の教科書体、その他の箇所は見やすく読み間違いにくいUDフォントを用いている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア QRコードを多数配置。画像、動画(インタビュー動画等)、ワークシートを見ることができる。ワークシートはPDF型式。</p> <p>イ 教科書に掲載している大型イラスト資料の一部を端末上で拡大して見ることができる。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGs、情報化社会、防災・安全、主権者教育など様々な事例を多数掲載している。6年政治・国際編P46, 47「東日本大震災」</p> <p>イ 国土の学習では、琉球の文化やアイヌの人々の文化について取り上げ、伝統や文化に関する教育が充実するように配慮されている。</p>

教科 社会	種目 社会	番号 17	略称 教出	書名 小学社会
-------	-------	-------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 単元の中に重要な語句が「キーワード」として欄外に示され、本文の中では太字で強調されている。 (5年P138「ユニバーサルデザイン」6年P55「地方自治」等) イ 「学びのてびき」を大きく「集める」「読み取る」「表す」の3つに分類し、学習内容に応じて必要な基礎的・基本的な技能を示している。(4年P17「等高線 土地の高さの違いを読み取る」) ウ 3年巻末の「社会科ガイド」で、様々な調べ学習の方法を詳しく掲載している。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「まとめる」ページでは、関係図や思考ツールやなどの手法で整理する活動を位置づけ、学習内容の習得や定着が図られている。(3年P65 関係図 3年P155 年表 4年P209 関係図) イ 社会的な見方・考え方を働かせた学びを促すため、キャラクターのふき出しで視点や方法を例示している。(各学年P5)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 問題解決的な学習の進め方が身につくよう「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習展開が左ページに朱書きで示され、流れを視覚的に捉えやすくしている。 イ 「次につなげよう」の項目を掲載することで、単元を通して問いにつながりを持たせやすくしている。(右ページ下4年P95 等多数)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 1冊構成。各学年の巻頭に前学年の学習振り返りと当該学年の学習の進め方の見通しが持てるように見開き掲載されている。3年巻頭「生活科をふり返ろう」では、生活科からの接続を意識している。 イ 社会科と他教科の関連を示したイメージ図が巻頭に掲載されている。(全学年P5)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 見やすく読みやすいUDフォントが用いられている。 イ カラーユニバーサルデザインを使用し、より多くの人に見やすい配色となっている。 ウ 性別、国籍、障害の有無に関係なく、多様な子どもが協力しているイラスト(目次・表紙)や写真を掲載している。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 二次元コードから学習場面に応じて、動画やワークシート、クイズなどの活用をすることができる。(まなびリンク) イ 巻頭「タブレット型コンピュータを生かそう」を掲載。 (全学年P2, 3)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「SDGsとつなげて考えよう」では、これからの地域や社会、暮らしのあり方について考えられるようにしている。(6年P66, 67) イ 5、6年生では、領土問題について正しい理解と平和的な解決に向けて考えることができる資料を掲載している。(5年P16-18等)

教科 社会	種目 社会	番号 116	略称 日文	書名 小学社会
-------	-------	--------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 重要な社会科用語が本文中に太字で示されている。太字で示された用語について欄外に「キーワード」として詳しく解説されている。(3年P89「国旗」「仕入れ」等)</p> <p>イ 資料や調査活動を通して、情報を適切に調べ、まとめる技能を身につけられるように「学び方・調べ方コーナー」が設定されている。(4年P123「博物館での調べ方」等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「深め合い」活動を設定している。子どもたちが互いに話し合い、聞き合うことで、多面的な思考や理解へと高めていく姿が掲載されている。(3年P110, 111 4年P70, 71 等)</p> <p>イ 空間、時間、関係の視点に沿って、「見方・考え方コーナー」をQRコード付きで表記している。これを活用することで、考えを深めることができる。(4年P150「私たちの町に伝わるもの」)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 問題解決的な学習を展開できるようにインデックスをページ右下に示している。</p> <p>イ 小單元ごとに学習問題を掘り下げて追究できるように、「さらに考えたい問題」が例示されている。(4年P66)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 学年1巻構成。巻頭では、1年間の学習の見通しを持たせ、巻末では学習のふり返りや身に付けた力、次学年の学習内容が掲載されている。</p> <p>イ 「話すこと・聞くこと」「書こと」に関する活動の提示や学年の発達段階に応じたグラフの掲載など、他教科と関連付けている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 読みやすいUDデジタル教科書体を使用している。</p> <p>イ 色調や色の組み合わせだけの区別ではなく、斜線やドットも使用し、カラユニバーサルデザインに配慮している。4年P107等</p> <p>ウ 本文と資料を関連させた読み取りがしやすいよう、紙面のレイアウトに配慮し、中心資料を大きく配置している。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア QRコンテンツから、「アプリケーション」「動画」「ワークシート」「シミュレーション」「外部リンク」等コンテンツが多数ある。</p> <p>イ ICT機器を活用している学習の様子や学習例が掲載されている。(5年P132, 133 等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「考えよう！SDGsコーナー」が3～6年生で合計32か所ある。健康・消費者、防災・安全、情報・技術等、社会の変化に応じた諸課題に取り組むことができるよう、各学年で様々な内容がSDGsに関連付けて設定されている。(3年P54, 55)</p> <p>イ 多文化共生社会にも目を向けさせ、子どもたちがグローバル社会に対応できるようにしている。</p>

地 圖

教科 社会	種目 地図	番号 2	略称 東書	書名 新しい地図帳
-------	-------	------	-------	-----------

	項目	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 地図記号、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用などの基礎的・基本的な地図の読み方について説明されている。(P9-14) イ 地球儀のよさについて、写真を用いて具体的に説明している。(P53, 54)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 果樹園、田、畑、牧草地の多い地域には、地図記号が記載され、その地域の土地利用について考えを深めることができる。(P19~P52) イ 日本の歴史を学びながら、同時代の世界の様子がわかる歴史地図を通して、歴史的な出来事と場所を関連付けて学ぶ構成になっている。(P77~P80)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「ホップステップマップでジャンプ」を随所に設置し、70の問いと作業が設定されており、地図学習を深められるように工夫されている。(P3, P4, P6) イ 日本の自然災害について、日本列島全体の災害地図を配し、地形や気候などとの関係から災害の起きる要因や防災対策について考えを深めるようにしている。(P97~P99)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 3年生からの使用を踏まえ、地図の仕組みと約束ごとをわかりやすく説明している。(P7~P12) イ 国語や音楽、道徳などの様々な教科に役立つイラストや記念館を掲載し、様々な教科で利用できるようにしている。(P25, P49, P62等) ウ 外国語活動及び外国語の授業に活用できるよう、世界地図の国名などを欧文表記で併記している。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 英字フォントも「ユニバーサルデザインフォント」を使用している。地名や特産の文字を縁取りする等、読みやすくしている。 イ 土地の高さの表現を見直し、陰影をなくした明るい色合いや土地利用がわかるように地図記号の記載をしている。 ウ 色のみによる文字や図形の判別を避け、形を変えて区分するようにしている。(P77~P80 航路の線)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 二次元コードを設け、白地図や地形がわかるドローン動画、クイズなど多様なコンテンツを設定している。(P4, P6, P9等)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 原子力発電所施設の表記や、北方領土から南西諸島までの日本列島全体の災害地図を掲載している。 イ プロ野球、Jリーグ、Bリーグ本拠地が掲載され、スポーツの面からも地域の特色が捉えられるようにしている。(P27, P28)

教科 社会	種目 地図	番号 46	略称 帝国	書名 新しく学ぶ小学生の地図帳
-------	-------	-------	-------	-----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 地図記号解説部分では、記号の由来がイラストと短い文で示され、記号の意味を理解しやすくしている。（P14）</p> <p>イ 「地図のやくそく」「地図帳の使い方」を10ページにわたって設け、方位、地図記号、土地利用、さくいんなど地図の基本的な技能が身につくようわかりやすく示している。（P11－P20）</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア テーマに沿った地図と比較関連させて考察できる資料を多数配置した資料図ページが掲載されている。（P95－P110等）</p> <p>イ 地図全般に渡って絵記号やイラストが多数配置し、地図表現と関連付けて考えられるように工夫されている。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「地図マスターへの道」を通して、位置や空間的な広がりに着目できるような問いにより、地図帳を活用できるようにしている。P26</p> <p>イ 地図の見方や活用の仕方に着目し、考えることができるようにキャラクターが配置されている。（P4, P7等）</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 歴史学習や他教科（国語・音楽等）での活用のために、外国文化の特徴を表したイラストを掲載したり、主要な国名と首都名に英語表記を付記していたりする。</p> <p>イ 縮尺の違う日本地図が3種類（1/100万 1/50万 1/20万）掲載されている。3年生に向け、1/160万「広く見わたす地図」設けている。（P22～P30）学年や目的に応じて使い分けができるように工夫されている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 手話による都道府県名の表し方を紹介している。</p> <p>イ 色覚特性に配慮した色づかいとなるように工夫されている。</p> <p>ウ 見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>エ 配当学年にかかわらず、すべての漢字にルビがふられている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア デジタル端末に対応した600を超えるQRコンテンツ（クイズ、アニメーションによる解説、動画、VR画像等）と都道府県学習に最適なデジタル地図など工夫している。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「日本の領土とそのまわり」として、北方領土、竹島、尖閣諸島は島名と国境線が明示され、北方領土と竹島は「不法に占拠しています」と記述されている。（P31, 32）</p> <p>イ 「日本の自然災害と防災」では、防災意識を高められるよう、自然災害の分布や事例、人々の努力が紹介されている。（P99, P102）</p> <p>ウ SDGsの17の項目の中の12項目について具体例を取り上げ、地図上にイラストや写真で掲載している。また、関連ページも表記することでより詳しく理解することができるように工夫している。（P125, P126）</p>

算 数

教科 算数	種目 算数	番号 2	略称 東書	書名 新しい算数
-------	-------	------	-------	----------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 2 学年以上の巻末「新しい算数プラス」に難易度が 2 段階の補充問題が掲載されている。（2 年下 P104－107 等）</p> <p>イ 当該学年の学習内容に関係のある既習事項が、巻末「新しい算数プラス」の「ふりかえりコーナー」にまとめられている。（4 年下 P142－143 等）</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 既習事項を生かした考え方、さらに学びを深めるための補助発問「同じように考えると」「それなら」が随所に記載されている。（6 年 P124－125 等）</p> <p>イ 単元末「つないでいこう算数の目」で、数学的な見方・考え方を明示している。（4 年上 P89 等）</p> <p>ウ 「今日の深い学び」として、主体的・対話的な問題解決の過程を掲載している。（5 年下 P93－95 等）</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 2 学年以上の単元末に、学習したことを日常生活に活用する「いかしてみよう」を設定している。（6 年 P130、P184 等）</p> <p>イ 2 学年以上にコラム「ますりん通信」を設け、算数の学習に関連する多方面からの話題などを扱っている。（5 年下 P105 等）</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア スタートカリキュラムとして、1 年入門期の学習に特化した分冊「あたらしいさんすう 1 ①」（A4 版）があり、書き込みができる。6 学年のみ合冊になっている。</p> <p>イ 1 年生で、「長さ」「体積」「面積」の概念の基礎を養う学習について、3 つの単元で取り扱っている。</p> <p>ウ 下学年から割合に関する学習を丁寧に積み上げている。3 年生「倍の計算」（下 P76－79）4 年生「倍の見方」（上 P112－117）として、それぞれミニ単元を設定している。</p> <p>エ 単元末「たしかめよう」には、15 分の使用を目安に区切りのマークが付いている。（4 年下 P34－35 等）</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 問題文とまとめの文を枠で囲み着目しやすいようにしている。</p> <p>イ 実物の写真が多数使用され、実生活との関連を意識しやすいように配慮されている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 4 学年以上に「プログラミングを体験しよう！」を設定し、体験できるようにしている。（4 上 P135 等）</p> <p>イ 単元の導入の動画や学びが広がる QR コンテンツが用意されている。（3 年下 P14 等）</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 4 学年以上に「算数で読みとこう」のページを設け、SDGs や統計データをきちんと読み解く力の育成などの現代的な教育課題を中心に設定している。（6 年 P188－189 等）</p> <p>イ 世界レベルで活躍する方と算数との関わりを掲載している。（5 年上巻頭コラム等）</p> <p>ウ 6 年単元末「中学の旗」巻末「算数卒業旅行」が掲載されている。（P23、141、P220－230 等）</p>

教科 算数	種目 算数	番号 4	略称 大日本	書名 たのしい算数
-------	-------	------	--------	-----------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 毎時の適用問題とそれに対応した補充問題を豊富に掲載している。(4年 P136-280 等)</p> <p>イ 巻末補充問題を全単元にわたって設定している。(1年 P134-136、3年 P249-251、6年 P258-270 等)</p> <p>ウ 前の学年までの学習内容を参照できるデジタルコンテンツを用意し、知識・技能を繰り返し振り返ることができるようにしている。(6年 P33 等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 単元末では、その単元の解説動画を見ることができ、さらに発展的な問題に取り組むことができるデジタルコンテンツを設け、習熟度に応じて使い分けることができる。(2年 P94、3年 P33 等)</p> <p>イ 数学的な見方・考え方を「算数の大切な考え方」として設定している。(2-6年 P10-15)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元の導入コーナーでの題材や、振り返りの具体の例示などを挙げるなどの工夫がある。(4年 P212、P214 等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 学習指導要領に示された内容はもれなく扱うとともに、さらに学力をのばすために活用問題や補充問題などを豊富に盛り込んでいる。(4年 P161 等)</p> <p>イ 5年「割合」までに2年で「ばい」3・4年「倍とかけ算、わり算」の単元が設定されている。</p> <p>ウ 他教科に関連した活動・題材や統計資料などを適宜扱うとともに、関連しているところをマークで示している。(5年 P140、6年 P173 等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 専門家の監修のもと、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。(裏表紙に記載)</p> <p>イ 外国にルーツをもつ児童を登場させたり、イラストや写真の中でも適宜掲載したりしている。(2年 P81、4年 P120、6年 P135 等)</p> <p>ウ 拡大教科書を発行し、弱視者に配慮している。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア デジタルコンテンツを豊富に設け、各ページの二次元コードから迅速にアクセスすることができるようにしている。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 適宜、SDGsに関連した問題やイラストなどを採用している。</p> <p>イ 身近にある建物、駅などの写真を豊富に掲載し、郷土や地域にも目を向けることを促すようにしている。(2年 P136、5年 P38 等)</p>

教科 算数	種目 算数	番号 11	略称 学図	書名 みんなと学ぶ 小学校 算数
-------	-------	-------	-------	------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 巻末の「もっと算数」では、算数の世界を広げ、一人一人の学力をより確かなものにするような工夫がある。(2年下 p 119 - 129 等)</p> <p>イ 単元末に、単元で学んだ知識及び技能を確認する「できるようになったこと」が設定されている。(3年上 P86、5年上 P32 等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア つまづきやすい内容について「算数パトロール隊」のページを設け、どこを注意すればよいか課題形式で掲載してあるため、全国学力・学習状況調査などの問題に対しても、苦手意識なく取り組むことができる。(6年 P123 等)</p> <p>イ 数学的な見方・考え方を身につけるために、9体のモンスターとしてキャラクター化し、意識づける。(2年上 P41 等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア イラスト形式の「?を発見」で生まれた疑問から単元の導入を図り、主体的な学びが自然に実現できるようにしている。(2 - 6年)</p> <p>イ 単元末の「ふりかえろう！」で学習してきた内容を捉え直し、「つなげたいな」でさらに次の学びにつなげるための視点がある。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 3年生以上では、「倍」の概念を学習する内容を、通常の単元とは別に特別単元として位置付け、重点的に扱っている。(3年上 P54 等)</p> <p>イ 「?を発見」の課題を解決した時新たな疑問を促すために「つなげたいな」を設定し、子どもたちの学びを深める。</p> <p>ウ 2年生から6年生までの「○年生で見つけた見方・考え方」をつなげると、小学校算数の「学びの地図」がつながり、その連続性に気づくことができる。(4年上 P10-11 等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UD フォントを使い、文節での改行をすることで、文章を読む段階でつまづくことがないように配慮している。</p> <p>イ 教科書の大きさが AB 版であり、作業しやすい。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 全ての学年に「プログラミングのプ」のページが設定されていて、QR コードから実際に試すこともできるようになっている。</p> <p>イ QR コードには、図の書き方や計算などに加え、捜査活動、既習事項の振り返り、練習問題、インターネットサイトなど様々な活用の仕方がある。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 全学年で「算数をつかって」のページがあり、社会の様々な問題に取り組む課題を扱っている。</p> <p>イ 6年別冊「中学校へのかけ橋」があり、考え方のまとめと中学校の学習とのつながりをまとめている。</p>

教科 算数	種目 算数	番号 17	略称 教出	書名 小学算数
-------	-------	-------	-------	---------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 学年を超えて既習事項を振り返る巻末「学びのマップ」があり、全学年までの内容も「まとめアニメーション」で確認できる。(4年上 P169、P170-175等)</p> <p>イ 巻末に「ステップアップ算数」として、補充的・発展的問題が掲載されている。(4年上 P146-160等)</p> <p>ウ 単元末のまとめでは、「振り返ろう」で知識の確認、「確かめよう」で技能の確認、「4コマ漫画」で見方・考え方を振り返っている。(5年 P170-171)</p> <p>エ 各単元のまとめでは、典型的な誤答がみられる問題を取り上げ、考えるヒントを掲載している。(3年上 P107)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 巻頭に「算数で使いたい見方・考え方」として、既習の「見方・考え方」が示されている。(2年上 P4-5等)</p> <p>イ 「学びの手引き」の「友だちのノートを見てみよう」にノートの書き方の例が掲載されている。(3年上 P30-31等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元末「学んだことを使おう」学年末「算数を使って考えよう」で、算数の学習と日常生活をつなげている。(6年 P142等)</p> <p>イ 数学的活動の過程を「はてな?⇒なるほど!⇒だったら!？」という問いの連続で構成している。(2年上 P48-52等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1年で、「時間」の単元を5月に設定している。減法では、「求残」と「求差」を別々の単元で構成している。</p> <p>イ 3年で「かけ算とわり算の図」の準単元を設け、関係を2本の数直線で表している。(上 P136-P139等)</p> <p>ウ 5年「小数のかけ算」と「小数のわり算」を連続で扱わず、間に別単元が設定されている。</p> <p>エ 6年で比例の単元のあとに、比の単元を配置している。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 算数用語の意味を言葉の対比や図解などによって捉えやすくしている。(4年上 P115等)</p> <p>イ 図や数直線に方眼が入っており、ノートに書くときの参考になっている。(3年上 P64、5年 P92等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 独自開発のプログラミング教材や表計算ソフトを使っている。(5年 P234-235、6年 P270等)</p> <p>イ 二次元コード「まなびリンク」により、学年を超えてどの学年のデジタルコンテンツも利用できるようなっている。(5年 P10等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 巻末の「広がる算数」で、SDGs や情報セキュリティに関連したテーマが扱われている。(5年 P293、6年 P269)</p> <p>イ 6年巻末で、「数学へのとびら」が掲載されている。</p>

教科 算数	種目 算数	番号 61	略称 啓林館	書名 わくわく算数
-------	-------	-------	--------	-----------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 単元末「学びのまとめ」が、「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」と評価の3観点に沿って構成している。(1年 P68 - 69 等)</p> <p>イ 巻末の「学びをつなげよう」の中に「じゅんぴ」が特設しており、全学年までの既習事項を確認することができる。(3年上 P130 - 131 等)</p> <p>ウ 「復習」の中に、「よくあるまちがい」に印があり、気をつける工夫がある。(全国学力調査などで正答率が低かった問題を扱っている。)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 巻頭の「算数で使いたい考えの進め方」では、問題解決の過程で用いられる考え方の例を整理して紹介している。(4年上 P8 - 9、5年 P8 - 9 等)</p> <p>イ 「見方・考え方を深めよう」に、問題解決の際に有効な考え方や図・表等のかき方が系統的に取り上げられている。(2年上 P114 - 117 等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元のはじめには、児童が学習の見通しや視点を明確にできるよう、「学びのめばえ」マークと「これから学習することのめあて」が設定されている。</p> <p>イ 単元末には発展・活用・探究へと向かえるような問題が設定されている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 問題と出会ったときの子どもたちの問いや気づきを「学びのめばえ」として掲載し、基本単元では全ての時間で「めあて」とそれに対応した「まとめ」を例示している。</p> <p>イ 他教科との関連に十分に配慮している。</p> <p>ウ 1年の教科書を分冊にして、「すたあとぶっく」(A4版)でスタートカリキュラムに対応している。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 拡大教科書や、拡大・総ルビ・音声読み上げ・リフロー表示・白黒反転機能等のあるデジタル教科書を用意されているため、多様な子どもたちの学習に対応できる。</p> <p>イ 問題解説動画により、自分のペースで個別に学習できる工夫がある。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア プログラミング的思考、論理的思考力が身につくように、1年から6年までの全学年に「わくわくプログラミング」の単元を設定している。</p> <p>イ QRコードにより、どの学年のデジタルコンテンツが利用できる。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア QRコードを数多く載せて、家庭学習で活用できるようにしている。</p> <p>イ 解説動画で一人一人の学びをサポートする。</p> <p>ウ 3年生以上に「わくわくSDGs」のページを設定し、SDGsや環境教育に関する課題を取り上げ、環境の保全に寄与する態度が身につく工夫がされている。(5年 P165 等)</p> <p>エ キャリア教育の一環として、6年学年末に様々な職業と繋がっていることが実感できる内容が扱われている。(6年 P230 - 240)</p>

教科 算数	種目 算数	番号 116	略称 日文	書名 小学算数
-------	-------	--------	-------	---------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「次の学習のために」が設けられており、既習事項を確かめ新しい学習にスムーズに入ることができる。(5年P17、6年P27等) イ 単元末に「わかっているかな」「たしかめよう」を新設し、間違いやすい問題や単元全体の確認問題が掲載されている。(2年下P77、2年下P78等)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「はってん」では、興味関心を大事にしながらい習を活用し、算数の奥深さ、面白さを学習できるようにしており、小学校で学んだことが数学の世界へつながっている。(6年P244～P250) イ 「自分でみんなで」で協働的な学びに向かいやすく構成されている。(1年②P65～67、5年P221～223、6年P185～187等) ウ 全学年に「見方・考え方」が掲載されている。(3年上P32～33等) 巻末に見方・考え方カード添付。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 全学年に「自分でみんなで」で問題解決型の展開・協働的な学びに向かいやすく構成されている。(6年P185～187等) イ 単元末に設定された「～の学習を振り返ろう」では、振り返りの具体的な例が示されている。(2年～6年)
内容の構成・配列への配慮と工夫	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 1年入門期の学習に特化した分冊(B5版)が用意されている。 イ 6年の巻末「もうすぐ中学生」で、中学校1・2年の数学の内容が扱われている。(6年P243～250) ウ 生活科、理科、社会科、家庭科、体育、図画工作、道徳等他教科との関連を意識した題材が多く取り上げられている。(2年上P15、3年上P38、5年P95等) エ 児童にとって、難関である「倍」「割合」に関する学習について低学年から丁寧に積み上げていくことを意図し、3年以降に「倍」と「割合」に特化した単元を設置。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア ユニバーサルデザインフォントの採用。 イ 性別による服装や役割の固定化がないように配慮されている。人権尊重・多様性への配慮もなされている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア デジタルコンテンツが掲載されており、動画を見たり、シミュレーションをしたりできるようになっている。 イ プログラミング的思考を育むために全学年に「プログラミング」のコーナーがある。(1年②P140 3年下P114～115 6年P202～203等)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「ごみを減らそう」「水の節約」リサイクル活動等環境教育、SDGsに関連した題材が取り上げられている。(3年上P101、5年P252～255、6年P196～199等) イ 防災・安全教育に配慮した題材を取り上げ、防災・安全教育にも配慮がなされている。(6年P167等)

理科

教科 理科	種目 理科	番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい理科
-------	-------	------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア まとめは、問題と正対した表現にしてあるとともに、箇条書きで示されているため、理解しやすい。(全学年) イ 知識及び技能の定着が図れるよう、観察道具、実験道具の使い方や1年間の振り返りが示されている。(全学年)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 問題解決の力を重点的に育成する場面をマークで協調して示し、児童が深く考え、他者と対話することを通して思考力、判断力、表現力を働かせることを促している。 イ 巻末にノートや記録のかき方や、効果的な記録の取り方について示されている。(全学年)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 巻頭ページに、理科を学ぶ期待感を高めるアニメーション動画を配置し、問題解決をしようとする期待感を高めている。 イ 「学ぶ前に」「学んだ後に」に同じ問いかけを用意し、自分なりの成長を実感できる配慮がある。 ウ 「理科の世界探検部」を掲載し、学習後に日常との関連を実感して学習意欲が高められるよう工夫されている。(3年 P67、4年 P49、6年 P89、P173 等) エ 単元導入「問題をつかもう」では、対話的な学びを促す問いかけからスタートしている。また、「伸ばそう！理科の力」内に、対話的な学びの参考になる発言例を紹介している。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 各単元が全国的な動植物の成長状況や気象条件に配慮して、無理なく実施できる時期に配慮されている。 イ 「思い出そう」で既習内容や他教科との関連を図り、「こんなところにも」で暮らしや社会との関連を図っている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 文字・カラーはユニバーサルデザイン。読みに困難さのある児童のために導入ページと「まとめ」は、全てルビつき。 イ 弱視児にも見やすいよう A4 拡大教科書を採用している。 ウ 写真やイラストに登場する男女の比率や役割が偏らないよう、また固定的なイメージや服装・色で性の区別をしないように。車椅子を使用している児童や外国人も登場するなど多様性に対応している。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 身の回りでプログラミングが活用されている事例を紹介し、プログラミングを体験できるウェブサイトを用意。(全学年) イ 実験方法、ワークシート、ドリル、資料、話し合いの例等の二次元コンテンツが設定されている。(3年 220、4年 250、5年 230、6年 260)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 巻末「わたしたちがつくるみらい 理科と SDG s」にアイコンを付して、学習内容と SDG s との関連をまとめ、持続可能な社会への意識を高める配慮がしてある。(全学年)

教科 理科	種目 理科	番号 4	略称 大日本	書名 新版 たのしい理科
-------	-------	------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 当該単元での習得を目指す「知識及び技能」について評価できるよう単元末問題を配置している。</p> <p>イ 獲得した知識及び技能を「学びをリンク！」で系統的に整理したり（6年 P.192～193）、「作ってみよう」で活用したり（5年 P.134）できるようにしている。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 該当学年で特に育成したい問題解決の力に星マークが付けられており、それに対応する活動場面が掲載されている。</p> <p>イ 考察場面や発表場面などの多様な表現方法（グラフやパワーポイントなど）を紹介し、課題解決に向けてのヒントをイラストやキャラクターの言葉として明記することで自ら考えることを促している。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「学んだことを生かそう」「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」の読み物資料では、身近な事象と学習内容を関連させた資料が多く、理科の有用性や興味関心を引く内容になっている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 巻末「理科の学びに役立てよう」で、算数科、社会科等、他教科とのつながりを表記している。</p> <p>イ 理科室で使用する実験器具が重複しないよう、学年の単元の配列が工夫されている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 写真やイラストに外国にルーツがある人々を登場させたり、固定的なイメージや服装・色で性の区別をしたりしないよう多様性に対応している。</p> <p>イ 読みやすくするために分節で改行してあり、当該学年で学習する漢字には全てルビがついている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 活用する QR コンテンツの目的をコード横に詳細に記載している。</p> <p>イ 二次元コードがページ下部に配置されており、リンク先の内容が掲載されている。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「サイエンスワールド」「りかのたまてばこ」には、SDGs マークのついた読み物資料が 5 社の中で一番多く、掲載されている。</p> <p>イ 環境、防災、科学技術等の課題のどの分野と関連した資料なのかをマークで表示している。</p>

教科 理科	種目 理科	番号 11	略称 学図	書名 みんなと学ぶ 小学校 理科
-------	-------	-------	-------	------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 学習後に活用問題を設け、学んだことをつかった説明活動を配置し理解が深まるように工夫されている。</p> <p>イ 学習前の「思い出そう」、学習後の「ふりかえろう」は練習問題ソフトが用意されており、知識及び技能を振り返ってから新たな学習に取り組めるよう工夫されている。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 記録や発表の方法を複数提示し、学習の記録の仕方を選択できるページがあり、児童自身が方法を選択することによって、個別最適な学びができるよう工夫されている。</p> <p>イ 全学年「考えよう調べよう」のページが設定され、伝え合う際の話型や記録の取り方について具体的に示されている。(3年P168-P181、4年P188-201、5年P176-189、6年P217)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア つけたい資質・能力を「理科モンスター」として登場させ、各単元の冒頭「できるようになりたい」で3つずつ示し、問題解決の過程で身に着けていけるよう工夫されている。また、学習後の振り返りで自己評価できるようになっている。</p> <p>イ 「もっとしりたい」「やってみよう」では、学習したことを活用した物作りや身近なくらしとつなげ、深い理解となるよう工夫されている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 算数科や社会科だけでなく、体育科や家庭科との関連を図ることができるよう工夫されている。(3年 P94、4年 P19、P169、6年 P40、P190)</p> <p>イ 各学年とも「大地」「生命」「もののはたらき」「ものの性質」でテーマを整理し、系統性についての意識を高める工夫がされている。(全学年 P2-3)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 実験器具の使い方等で、一連の作業をスモールステップに分解し、縦の流れで示し、確認しながら作業できるよう工夫されている。</p> <p>イ 「目で追いやすいよう縦の配置でバーをつなぐ」、「確認がしやすいようチェックボックスを設ける」等、どの児童にもわかりやすいレイアウトになっている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードのリンク先に資料動画だけでなく、星座早見を動かして確かめるコンテンツが配置されている。(3年P32、4年P84)</p> <p>イ 児童が ICT 機器を効果的に活用できる場面に「ICT マーク」が付してある。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 裏表紙に各単元に関連するSDGsの分野マークが記載されている。SDGsについて学ぶコンテンツにQRコードからアクセスできるようになっている。</p> <p>イ キャリア教育の「人間関係形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を育むことにも配慮されている。</p> <p>ウ 日本各地の様々な地域に関わるコラムや写真を紹介することで、郷土に対して興味を持つよう工夫されている。(5年 P98-99、6年 P152-153、P208-209等)</p>

教科 理科	種目 理科	番号 17	略称 教出	書名 未来をひらく 小学理科
-------	-------	-------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 巻頭に「〇年で学んだこと」、巻末に「〇年で学んだこと」が示され、一目でわかるようになっている。 イ 巻頭に「学習の進め方」「ノートのとおり方」のページがあり、学習の流れ（手順）が整理しやすく示されている。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 比較して考えている児童の発言例から、先生キャラクターが比較する視点を整理して価値付けている。 イ 見方・考え方を働かせた児童の発言例には、カギマークとマーカーを明記してあり、参考にしやすい。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「ふりかえり」のコーナーで、学習前後の成長が実感できるようキャラクターを登場させ学びの振り返りのモデルを掲載している。 イ 共働的な学び：単元導入「見つけよう」では対話的な学びを促す問いかけからスタートしている。巻頭の、「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」では、〇年で大切にしたい言葉や伝え合いのモデルを具体的に示している。 ウ 巻末図鑑があり、Web 図鑑を活用して学習する方法が掲載されている。児童が自ら調べ、学習する工夫が見られる。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 各単元導入ページに、「学習のつながり」を掲載することで既習学習内容や次の学習への関連性を示し意識させている。 イ 巻末と単元内に、算数科との関連を意識したページを、巻頭に国語科を意識したページを配置している。 ウ 「発展的な学習」の扱いや「学習のつながり」で中学校の内容を掲載し、小中連携を意識している。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 言葉の途中で文章改行はせず、文節で改行してある。 イ より多くの人が見やすいように色名を表示したり、識別しやすい配色を用いたりするなど色覚多様性への配慮をしている。 ウ 全ページを通し、重要部分太字・マーカーを施し強調してわかりやすい。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 調べ学習の場面では、コンピュータやインターネットの活用例を明記している。 イ タブレットを使用しているのの写真や動画の撮り方を巻末にて紹介している。 ウ 動植物のウェブ図鑑が豊富。B 区分の調べ学習に役立つ。動画は少なく、器具の使い方が中心だが、字幕が付いている。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 巻頭に SDGs の説明・分野マークが紹介されている。QR コンテンツで一つ一つの目標の詳細を調べることができる。「科学のまど」には、どの分野と関連しているのかマークの表示があり、理科の学習が持続可能な社会の実現に向けて役立っていることがわかる構成になっている。 イ 全学年「理科室の使い方」で、理科室での感染症対策や地震時の避難行動について説明されている。(3年 P183、4年 P223、6年 P215 等)

教科 理科	種目 理科	番号 61	略称 啓林館	書名 わくわく理科
-------	-------	-------	--------	-----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 単元末の「たしかめよう」で、基礎的・基本的な知識および技能の定着を図る問題を掲載している。また、理解度に応じて解説動画「スマート解説」を視聴するつくりになっている。</p> <p>イ 単元末の「まとめノート」では、単元の学習の要点を振り返って整理することができ、「新しく学習した言葉」で用語の定着をはかっている。また、QRコードを読み取ることで、フラッシュカード形式の補充問題（基本のチェック）に取り組むことができるようになっている。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「問題」場面でキャラクターの吹き出しの中に、見方・考え方マーカーを引き、見方・考え方を働かせるためのアシストをしている。</p> <p>イ 単元末の「活用しよう」では、図や写真から情報を読み取らせ、思考力を育むことができるよう構成されている。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元導入「問題？」「予想と計画」では対話的な学びを意識した話し合い、対話例を紹介している。</p> <p>イ 問題解決の流れの中の適所に「もっと知りたい」を設け、新たな問題発見に向かう意欲を高め、学びの連続性を配慮している。</p> <p>ウ 個別最適化な学びへの対応として、スマート解説のQRコードを読み取って、解説の動画を見て確認することができる。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元内に、音楽科、社会科、生活科との関連を意識したページを、巻末に算数科を意識したページを配置している。</p> <p>イ 単元導入の「思い出そう」では、生活経験や前学年の内容、他教科との関連を想起させ、系統性を高められるようにしている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 白を基調としたページ設定。自然な視線の動きとなるよう、上から下へ流れるデザインにしてあり、わかりやすい。</p> <p>イ 動画は字幕スーパの有無が選択できる。聴覚障がい児童への適切な対応や配慮がなされている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 学習を振り返りながら、情報活用能力や問題解決能力を育むよう、CBTコンテンツを設置している。</p> <p>イ QRコードの活用目的をコードの横に記載してあるので、利用する児童にとって活用目的が明確になる。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 巻頭にSDGsの説明があり、特設サイト「わくわくSDGs」で詳しい情報を知ることができる。単元中にも、どの分野と関連しているのかマークの表示がありQRコードで調べることができる。</p> <p>イ 「理科×ものづくり」「理科×アート」など、「STEAM」の考え方を意識したコラムを単元内に設置している。</p>

生 活

教科 生活	種目 生活	番号 2	略称 東書	書名 新編 あたらしい せいかつ
-------	-------	------	-------	------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「やくそく」（ページ上部）（上 P40 等）や「かつどうべんりてちょう」（巻末）、QR コンテンツによる動画やクイズや図鑑など、学習活動に即した習慣や知識・技能を身に付けられる資料がある。 イ 「なつのおそびずかん」「いきものずかん」など、単元ごとに必要な資料がある。（上 P50—51 等）
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「まなびをふかめる」では言語活動により児童の気づきから学びを深めていく過程が示されている。（下 P14—15、P50—51 等） イ 単元末には伝え合う学習の様子と板書が示され、伝え合い深まる学びの姿が示されている。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「かつどうべんりてちょう」の「やってみようかんがえよう」等では伝え方、調べ方などを示し、自ら働きかけ気づきの質を高める工夫が示されている。（下 P110—120） イ キャラクターの吹き出し、見出しなどから疑問や気づき、探求心生まれるよう促している。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 「つながるひろがる」ではスタートカリキュラムで幼児期に育まれた姿と他教科とを円滑に接続する説明があり保護者への言葉も示されている。また、中学年への接続が示されている。単元が季節や発達の流れに沿って組み立てられている。（上 P12—13、下 P102） イ 他教科との関連が「つながる」で分かりやすく示されている。（下 P15、P51 等）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 読みやすい文字の大きさや色、フォントが使われている。イラストや写真に外国にルーツがある児童や高齢者、障がいのある児童などと共同する活動がある。マークで分かりやすくする工夫がある。 イ 見開きで学習のまとまりがあり、記号や色、配置が統一されていて分かりやすい。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア QR コンテンツを豊富に掲載している。また、児童がタブレットを用いる写真も多く、デジタルを用いる活動のイメージが持ちやすい。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 社会問題となっている児童の安心・安全に対する資料（災害、熱中症や感染症、事故等への対応）が豊富にある。

教科 生活	種目 生活	番号 4	略称 大日本	書名 新版 たのしいせいかつ
-------	-------	------	--------	----------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 具体的な活動や体験を通して、必要な挨拶、人との接し方、学校や地域、家庭でできる生活習慣、道具や手を使う生活技能等が身に付けられるように工夫されている。（上 P20—21）
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「がくしゅうどうぐばこ」に資料を掲載され、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得が図れるようになっている。（上 P8—9） イ 「せいかつことば」を設けられ、児童の語彙力向上とともに、豊かな表現力の育成、表現活動の充実が図られている。（上 P52—53）
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 単元と単元のつながりでは、活動後の振り返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながるように工夫されている。（上 P46—47） イ 学校で学んだことが家庭や地域で実行できる構成になっている。（上 P77、P116—117）
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 学習指導要領の目標・内容に則し、具体的な活動・体験について、児童の興味・関心や発達段階に応じ、また学校・地域の実態に配慮し、適切に対応できるように構成・配列されている。 イ 活動の際、児童が必要に応じて参考にできる資料「がくしゅうどうぐばこ」が掲載されている。（下 P90—91、P114—125 等） ウ 他教科との関連が深いところには、関連がわかるマークが示されている。（上 P72—73）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 特別支援教育の観点から、活動を振り返る際、学習経過がわかるよう写真を時系列で例示されている。（上 P120—121） イ 国際理解教育の観点から、活動に関連する用語の紹介や日本の文化とともに海外の文化が示されている。（下 P54—55 等） ウ イラスト内で性差によって服の色・嗜好・職業・役割等の偏りがないように工夫されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア タブレット PC を使って活動中に記録を撮る、拡大して観察する、その場にはいない人と話す、振り返る場面や発表時に電子黒板を使用するなど、生活科の活動をより深めるために ICT 機器を活用する場面が例示されている。（上 P98—99 等） イ デジタルコンテンツ（たのしいせいかつウェブ）で、活動に際して参考となる資料が示されている。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 児童が関心をもてるように、関連する部分を SDGs マークで示されている。（P122—125）

教科 生活	種目 生活	番号 11	略称 学図	書名 みんなとまなぶ しょうがっこうせいかつ
-------	-------	-------	-------	------------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 4人のキャラクターのつぶやきやカードの中で、児童が自然に見方や考え方を生かしているように示されている。（上 P30—31 等） イ 単元全体を通して、身近な人々、社会、自然と直接関わる場面が多く示されている。（上 P20—21 等）
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 身近な人々、社会および自然との関わりをカードなどに記録していくことが示されており、単元末ではそれらを多様な表現でまとめ、ふり返れるよう工夫されている（下 P30—32）。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	イ 「もっと」のページには、活動を通して自信をもった子どもたちが、さらに意欲をもって取り組める活動などを示されている。（下 P33 等）
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 活動や体験の場が、上巻では学校や学校の周辺、下巻では地域へと広がっており、子どもの発達段階が配慮されている。 イ 表現活動を中心に他教科との関連が図られている。他教科で学んだことを、カードの記録や話し合い活動に活かすなど、学習効果の高まりが相互に作用する構成となっている。（下 P116—123）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア イラストに海外で行われている行事を入れたり、さし絵・写真の中に外国人を登場させたりするなど、国際理解の視点への配慮がされている。（上 P 14、P21、P23、P78 等） イ バリアフリーの視点から、身近な福祉関係の設備やそこで働く人々の存在に気付けるよう工夫されている。（下 P 14—15、P119）
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 情報の収集場面や発信場面においては、人に聞いたり本で調べたりする以外に、郵便、電話、インターネットなどの様々な手段が示されている。（下 P12—13 等） イ 下巻『学び方図かん』では、インターネットの使い方を掲載され、利用する場合は大人と一緒に調べるなどの使い方の配慮が例示されている。（下 P125）
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「わたしたんけん」では、今の自分と身近な人について理解し、自分の将来について考えていけるよう工夫されている。（下 P110—111） イ 学習の中でも「持続可能な開発目標(SDGs)」を意識できるようにイラストなどが示されている。（上 P89—91、下 P 89、P124）

教科 生活	種目 生活	番号 17	略称 教出	書名 せいかつ
-------	-------	-------	-------	---------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「きづく（上 P28 等）」、「じぶんでできる（上 P26 他）」といった、「知識・技能の基礎」として重点的に育てたい力が小単元の学習活動ごとに明記されている。学習のねらいと見通し（児童）、指導と評価の重点（指導者）を明確にしながらか活動を進めることができるよう工夫されている。（以下、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」も同様。）
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「かんがえる（上 P30 等）」、「つたえる（上 P36 等）」といった、「思考力・判断力・表現力の基礎」として重点的に育てたい力が小単元の学習活動ごとに明記されている。 イ 「？」や「！」を用いて、問いや気づきを表出することの大切さを伝えている。（上 P20）
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「ちょうせんする（上 P74 等）」、「じしんをもつ（上 P36 他）」といった、「学びに向かう力・人間性等」として重点的に育てたい力が小単元の学習活動ごとに明記されている。 イ 「わくわくすいっち（上 P25 等）」で学習の動機付けを、「サイコロ（上 P26 等）」で各学習活動におけるめあてをもった学習への取り組み方を、「なにをかんじたかな（上 P36 等）」で次の学習活動へとつなげる振り返り活動を設定し、単元ごとに見通しをもった学習活動が設定されている。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 学習活動に関わる写真やイラストが多数採用されている。 イ スタートカリキュラム「はじめのいっぽ」（上 P3～）では、幼児期までに育ててほしい姿がイラストで示されているとともに、他教科との総合的な学習や柔軟な時間割が意図されている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 障がいのある児童、外国にルーツがある児童を配した写真やイラストが多数採用され、多様性への配慮を意図した紙面構成となっている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア QRコードにより、学習に役立つ情報が見られるよう工夫されている。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 巻末「まなびのポケット」では、安全と健康、SDGs、タブレット端末の使い方や感染症対策についての紙面ページがあり、活動に応じて読んだり見返したりすることができる。

教科 生活	種目 生活	番号 38	略称 光村	書名 せいかつ たんけんたい
-------	-------	-------	-------	----------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 身近な対象についての自分との関わりや、これまでの経験との関わりが、写真や吹き出しで分かりやすく示されている。 イ 別冊「ひろがるせいかつじてん」で日常生活の習慣や技能などがまとめられている。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 4コマ漫画により多様な気付きや考え方があることに気付くことができる。 イ 見つける、比べる、例えるなど分析的に考えたり、試す、見通す、工夫するなど創造的に考えたりする児童の様子が写真や吹き出し、マーク（六角形茶色）で豊富に示されている。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア さまざまな価値観で考えたり学びを深めたりしている姿（ヨシタケシンスケの挿絵）を示している。 イ 単元末のふりかえりで自分の成長や今後の生活に生かそうとする態度を養う工夫をしている。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 見出しと活動、ふりかえりが見開きでひと目で分かる。配置がパターン化され、学習の目的や何ができるようになったかがはっきりする。 イ スタートカリキュラムと「10の姿」がイラストや写真で示され、幼児期との接続をスムーズにしている。中学年への接続も2年生の振り返りとともに期待を膨らませる内容となっている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 文字はほとんど黒で文字とマークやイラストが分かりやすくつけてある。色、マークがパターン化されており分かりやすい。外国にルーツがある児童や障がいのある児童が活動している写真がある。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 児童がタブレットをもって活動している様子が写真や吹き出しで示されている。 イ タブレット等を使用する際の注意点が示されている。（上下 P2、上別冊 P9、下別冊 P7）
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 伝統行事や昔から伝わる遊びの例（伝統や文化）、地域の人や働いている人との交流（キャリア教育）、防災や安全など様々な今日的な課題に対応している。

教科 生活	種目 生活	番号 61	略称 啓林館	書名 せいかつ
-------	-------	-------	--------	---------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「がくしゅうずかん」によって、基本的な知識・技能がわかりやすく示されている。（上 P118 等） イ 「びっくりずかん L I V E」によって、知識の習得をサポートし、気づきの質を高められるようになっている。（上 P18 等）
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 左上の「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」で導入・活動・振り返りの単元の流れが示してあり、繰り返し考えたり表現したりしながら、学びを深められる。（全体）
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「めくり言葉」によって、活動の意欲を高めている。（全体） イ 「たいな」「?」「!」がたくさん使われており、意欲と疑問、納得を促している。（全体）
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 「すたあとぶつく〜がっこうだいすきいちねんせい〜」で幼児期からの学びをつなぎ、安心して学校生活が始められるようにしてある。（上） イ 「ステップブック〜みらいにむかって〜」で系統性を示し、自信をもって3年に進級できるようにしてある。（下） ウ 他教科と関連がある活動には、合科的・関連的な学習を示すマークがつけられている。（上 P31 等）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 単元名、本文、コーナー等の位置が定位置に固定されて、わかりやすい紙面になっている。（全体） イ 登場する児童キャラクターが様々な肌や髪の色だったり、車椅子を利用していたりしている。そして、多様な人々が楽しそうに関わっている。（全体）
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 紙面にQRコードがあり、学習の助けになる教材が利用できる。（全体） イ 「デジタルたんけんブック」によって、もっと知りたいに込めている。（もくじ）
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア SDG sに関する資料があり、特設サイト「わくわくSDG s」もある。（下 P114） イ 自然災害、交通災害、人的災害の視点からの資料がたくさんある。（上 P1 等）

音 樂

教科 音楽	種目 音楽	番号 17	略称 教出	書名 小学音楽 音楽のおくりもの
-------	-------	-------	-------	------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「まなびナビマーク」（方位磁針のマーク）で、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」を分かりやすく示している。（1年 P.13,19,,21 など）</p> <p>イ 鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏方法などの基礎的な事項が分かりやすく示されている。また、「常時活動」を示し、少しずつ活動を積み重ねていくことができるようになっている。</p> <p>（1年 P.32～41 2年 P.22～25 3年 P.18～25、32 4年 P.28）</p> <p>ウ 「かえる」のキャラクターを使って、学習の振り返りがしやすいように工夫されている。（2年 P.29 4年 P.27 5年 P.37）</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「音のスケッチ」やリズムや声の出し方、体を動かす表現活動など、様々な表現ができるように工夫されている。（1年 P.22,23 2年 P.34,35 3年 P.28,29 4年 P.26,27 5年 P.20,21 6年 P.36,37）</p> <p>イ 年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」が巻頭に示されている。また、学習のまとめの「音楽のものとまとめ」を巻末に設けている。「音楽のものとまとめ」は、中学年まではイラストや図で分かりやすくまとめられているが、高学年のものは児童にとって分かりにくいように感じた。（4年 P.78 5年 P.78）</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「まなびリンク」を活用することによって、興味関心や個々のニーズに応じた個別最適な学習へつないでいくことができる。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 系統性に基づいて教材が配置され、発達段階に応じ、無理なく基礎基本が定着するように配慮されている。音楽のもと、基礎基本事項の教科書右端の記載がわかりやすく表示されている。</p> <p>イ 日本の伝統音楽も大事にしなが、世界の音楽に触れることができる教材配置がなされている。（4年 P.44～47 5年 P.40,41 6年 38,39）</p> <p>ウ 表現と鑑賞、音楽づくりの学びのつながりに配慮した教材配列がされている。（1年 P.59 5年 58, 59）</p> <p>エ 巻末に「ショートタイム ラーニング」のコーナーを設け、九九の歌、単位の歌、英語の歌など他教科と関連する活動ができるようになっている。（2年 P.70, 71 3年 P.72,72）</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 誰もが見やすい書体や色づかい、歌詞の内容に忠実な写真や紙面構成に配慮してある。</p> <p>イ 国際理解教育の充実、また、多様性への対応として、世界の音楽に親しむ題材や外国語の歌詞の教材、「英語の歌」が取り入れられている。（各学年 ショートタイムラーニング）</p> <p>ウ 表紙のイラストに登場する子どもたちの髪の毛や目の色、服装などが様々であり、多様性への配慮が見られる。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 教科書の紙面にある二次元コードを読み取ることで、「まなびリンク」にアクセスすることができ、個別最適な学びを動画で見ることができる。</p> <p>イ 高学年になるほど、1ページに収められている情報量が多くなり、情報処理が難しくなっている。（5年 P.27,59）</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 折込を使ったワイドな紙面で、音楽の世界のイメージを広げることができる写真やイラストがふんだんに使われている。（3年 P.40 富士山、4年 P.10 さくら 5年 P.10 こいのぼり 6年 P.10 菜の花畑）</p> <p>イ 5年生の「川はだれのもの？」、6年生の「心と心をつなぐ音楽」など、SDGsにつながるページが設けられている。（5年 P.65 6年 P.46,47）</p>

教科 音楽	種目 音楽	番号 27	略称 教芸	書名 小学生の音楽
項目	観点	特徴		
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」が示されている。(1-2年 P2-3、3-6年 P4-5) イ 1年間で学習したことを確認することができる「ふり返りのページ」が巻末に示されている。(1-2年 P80-81、3-6年 P82-83) ウ 技能の定着のために、リズムの学習や、鍵盤ハーモニカやリコーダーを活用した常時活動「そだてよう」を示している。(1年 P14,15,40、2年 15,17,27,33、3年 P9,17,25,28,49等) エ 学習したことを振り返って確認することができるよう「おもいだそう」が示されている。(3年 P51,56,68、4年 P31,38,64等)		
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 気づきや思考を促したり、活動を発展させたりするためのヒントや、対話的な学びを促す発言例などが、キャラクターの吹き出しで示されている。(3年 P34-35、P58-59、P64-65等) イ 鑑賞教材において、「感じたこと」と「気づいたこと」を分けて記入するワークシートが示されており、既習事項を生かして学習することができる。(3年 P47、6年 P33,35,37)		
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 児童が見通しをもって活動することができるように、各教材での学習活動が「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」「考える」に分けて具体的に示されている。 イ 題材をとおして「何を学んだか」「何ができるようになったか」を確認し、次の学びにつなげられるよう、各題材の最初のページの左に題材のねらい、最後のページに題材のまとめが示されている。 ウ 生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す学習活動やコラムが設定されている。(1年 P32-33、2年 P28-29、5年 P2-3等)		
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 音楽を形づくっている要素を中心にした題材構成となっており、それぞれの題材のねらいに沿って、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材がバランスよく配置されている。 イ 子どもたちの発達段階に応じて学習を積み上げていくことができるよう、6年間を見通した系統的な題材構成となっている。 ウ 地域に伝わる音楽についての調べ学習では、社会科や総合的な学習の時間との連携を図ることができるように、調べる観点や方法が示されている。(3年 P63、4年 P28、5年 P60)		
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 色覚や視覚情報処理などの特性に配慮し、イラストの色調やデザインを工夫したり、UDフォントを使用したりしている。 イ 国際理解教育の充実という観点から、外国語の歌詞の教材や「英語の歌」が取り入れられている。(2年 P6、3年 P77、4年 P79、5年 P36、6年 P64等) ウ 表紙のイラストに登場する子どもたちの髪の毛や肌の色が様々であり、多様性への配慮が見られる。(3-6年表紙)		
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 教科書の紙面右上の二次元コードを読み取ることで、学習をサポートする「ムーブの部屋」にアクセスできるようになっており、音源を聞いたり、音楽づくりの教材や楽器の紹介動画を見たりすることができるようになっている。 イ 1ページに収められている情報量が多く、視覚的な情報処理に困難さのある児童には、個に応じた対応が必要になると感じた。		
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア SDGsにつながる歌詞の歌唱教材(5年 P2-3)を採用したり、「音楽と社会をつなぐテクノロジー」(5年 P70-71)について取り上げたりしている。 イ 作品を尊重する大切さを学ぶ「著作権について知ろう」(6年 P24-25)、音楽と生活や社会との関わりを考える「音楽のもっている力や役割」(6年 P43)などのコラムが設定されている。		

図画工作

教科 図画工作	種目 図画工作	番号 9	略称 開隆堂	書名 図画工作
---------	---------	------	--------	---------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各題材で、3つの目標のうち、1つを中心的な目標として強調して（文字色を変えて）示し、目標に対応したキャラクターを使って児童に分かりやすくしている。また、末尾で中心的な目標に対する自己評価ができるような「ふりかえり」を設定している。</p> <p>イ 各題材で必要な作り方をイラストや写真で紹介し、巻末に「学びの資料」を設け、用具・材料の特徴や使い方を示している。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 巻末の「ひらめきショートチャレンジ」では、造形的な見方や考え方について記載し、表現活動に生かせるようにしている。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 巻末の「ひらめきショートチャレンジ」では、最後のページに「これまでのふりかえりをしよう」を設定し、どのような資質・能力が身についたのかを確認できるようにしている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 目次ページに年間の題材一覧が写真とともに掲載されており、各題材の内容が視覚的に捉えられ、学習の見通しが立てやすく構成されている。</p> <p>イ 表現と鑑賞を一体的に扱ったり、学習の内容が次の題材で生かされたりするような題材と題材のつながりを意識した年間指導計画となっている。</p> <p>ウ 題材ごとに他教科と関連づけて学習するためのヒント「あわせて学ぼう」を設定している。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 掲載作品に図版番号を付け、児童がすぐに該当作品に注目できるようにしている。</p> <p>イ ユニバーサルデザインフォントの使用、漢字のふりがな、意味のまとまりごとの改行など児童が読みやすくとらえやすい表記となっている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 「タブレットたんまつで見てみよう」として二次元コードが掲載されており、さまざまなコンテンツが利用できるようになっている。</p> <p>イ 「タブレットたんまつを使おう」では、学年に応じたタブレット端末の使い方が紹介されている。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 図画工作の学びを生かし、社会につなげる観点から、「SDGs コラム」や「つながる造形」「みんなのギャラリー」などの囲み記事やページを設定している。</p>

教科 図画工作	種目 図画工作	番号 116	略称 日文	書名 図画工作
---------	---------	--------	-------	---------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各巻に「図工のみかた」を設け、身の回りにある形や色などを造形的な見方・考え方でとらえることを促し、知識の習得につなげられるよう工夫している。</p> <p>イ 同じ用具を繰り返し使うことで用具の扱いに慣れるとともに、確実に技能を積み上げていけるよう題材配列を工夫している。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各巻に「図工のみかた」を設け、発想や構想、表現のヒントが写真やイラストで分かりやすく掲載し、造形的な視点を養うことができるよう工夫している。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 題材ページには、多様な作品や活動例が紹介されており、個々の興味・関心に応じて表したいことを見付けられるような紙面になっており、学習の個性化が図られるよう工夫している。</p> <p>イ 題材ページには、表現や鑑賞の活動を通して友だちと話したり協力したりする様子が多く掲載されており、友だちとの関わりが自然と生まれ、協働的な学びが実現できるよう配慮している。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各領域の単元数や教材数の配分が適切であり、加えて、学校の実態、児童の状況に応じて題材が選択できるよう配慮している。</p> <p>イ 題材ページや特設ページに「つながる学び」を示し、関連する他教科等の学習ができるよう工夫している。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 色覚特性の有無にかかわらず、すべての子どもが等しく学べるようコントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルに配慮して編集している。</p> <p>イ 写真やイラストにおいて、外国籍の児童など多様な児童がともに学び合う姿や、幼児、高齢者、障がいのある人など多様な人々に関わる姿を掲載している。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア すべての題材に二次元コードが掲載されており、タブレットなどの端末で読み込むことで、さまざまな画像や動画などを見ることができる。</p> <p>イ メッセージ動画や朗読音声をはじめ、一人一人の特性に合わせて選ぶことができるよう多様なコンテンツを用意している。</p> <p>ウ 鑑賞において、デジタルのアート・カードを使って、対話的な鑑賞に取り組むことができるよう配慮している。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「資源・環境」の観点から、プラスチック製の材料を使用する題材を令和2年度版と比べて70%削減している。</p> <p>イ 子どもたちが持続可能な社会について考えられるようESDの観点に立った題材を扱ったり、事例を紹介したりしている。</p> <p>ウ 触れて味わうことができる作品や視覚障がいがある人のための設備、使いやすさに配慮したデザインのコップなど、福祉について考えられるような題材や事例を掲載している。</p>

家 庭

教科 家庭	種目 家庭	番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい家庭
-------	-------	------	-------	-------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 習得すべき知識及び技能を「いつも確かめよう」で示し、実際の生活場面で生かせるようにしている。 イ 「できたかな」で、実習にあたってのポイントが自己評価として活用でき、技能の定着を図っている。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 家庭科の見方・考え方の4つの視点を意識して学習が進められるように、「家庭科の窓」として巻頭で説明し、各大題材の最初に示している。 イ 「活動1、2…」のそれぞれに「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」「深めよう」「考えよう」と記載され、学習を進めていくことで自然に問題解決型の学習ができる。 ウ 問題提示となるような資料 (P60、P 85、P 124) エ 「深めよう」では、さらに深い学びを引き出すため、具体例を挙げて、課題を示している。(P19、P26 等)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 小単元のテーマは児童の興味を引くものになっている。 イ 「成長の記録」(P6、7) で自己評価し、「次へのチャレンジ」として学習したことを生かして家庭で挑戦したいことを考える場面を設定している。 ウ 生活の課題と実践を「生活を変えるチャンス！」として設定し、学んだことを活用し、生活の中から課題を見つけられるよう促し、家庭学習へとつなげている。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 5年8単元、6年7単元で衣食住が総合的に扱われている。 イ 小題材のはじめに学習のめあて、最後にふりかえりが設定されている。 ウ 活動 資料 と明示され、分かりやすい内容となっている。 エ 「持続可能な社会の構築」の視点の単元が、5年の早い時期(第4大題材)で取り上げられている。 オ 他教科、他学年との関連をマークで示している。中学校との関連も示している。(P 93、P 97) カ 単元の始めに「学習の流れ」が示してあり、「ステップ1 見つめよう」「ステップ2 計画しよう・実践しよう」「ステップ3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という構成になっている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 写真やイラストが大きく、わかりやすい。 (実物大の手の大きさを示してある) イ UDフォント使用 ウ 右利き、左利きそれぞれの基礎技能について、巻末等に写真で示されている。(P11、P141 等) エ イラストには、幼児、高齢者、障がいのある人、外国の人など様々な立場の人が登場し、共生の視点に気づく。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア ステップごとの学習に合わせたQRコンテンツ(デジタル思考ツール、基礎基本動画、「調べ学習ずかん」、深めようワークシート)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 消費生活との関連で「SDGs」について、5年の早い段階で学ぶが、巻頭でも「SDGsに向けて」の記載があり、ウェブページにもつながっている。「環境」のマークで関連項目を示している。 イ 日本の伝統的な生活に関わる資料や各界の専門家へのインタビュー記事を掲載し、グローバルな視点から日本の生活文化のよさを紹介している。「日本の伝統」マーク (P27、P42、P53) ウ 「プロに聞く」で、家庭科の内容に関連する職業の人へのインタビューを掲載し、仕事や生活への興味が高まる工夫がある。 エ 食事や生活のマナーについて触れている。(P27、P45、P130) オ 防災に係る視点での「日々の備え」を取り上げている。(P34、P56 等)

教科 家庭	種目 家庭	番号 9	略称 開隆堂	書名 わたしたちの家庭科
-------	-------	------	--------	--------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 技能的な内容には写真が多く採用されている。流れも分かりやすい。 イ 具体的な実習手順に沿って自己評価ができるように、実習後に「できたかな」を設定し、チェックができる。（P23、P41等）
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 家庭科の見方・考え方の4つの視点を意識して学習が進められるように、巻頭で説明し、各大題材の最初にクローバーで示している。また、途中には「見方・考え方」の書かれたクローバーの葉を持ったキャラクターが登場している。 イ 「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」と問題解決型学習になっている。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 大題材の見通しが持てるように学習のはじめに「学習のめあて」、最後に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」が示され、実践へつなげる工夫がある。（P10、P19、P20、P27等） イ 「ステップ1気づく・見つける」「ステップ2計画しよう・実践しよう」「ステップ3生かす・深める」の3つのステップを繰り返し、ステップ3では、「生かす・深める」として、児童がさらなる課題に向けて主体的に取り組めるような事例を示している。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 5年11単元、6年9単元で内容を絞り、多くの単元で構成されている。 イ 大題材のはじめに「学習のめあて」を3つのステップごとに表示している。 ウ 教科書の内容に沿ったデジタルのワークシートが用意されている。 エ 中学校技術・家庭「家庭分野」とのつながりは巻末に、他教科との関連はマークで随所に示している。（P11、P12-13等）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 調理実習や製作などの手順が見開きで、横流れ。バックに色が付いているため、流れが分かりやすい。 イ 写真やイラストが大きく、わかりやすい。（実物大の手の大きさを示してある） ウ 実習の流れを横向きの帯状に示し、視覚的な工夫がある。（P14-15、P22-23） エ 右利き、左利きそれぞれの基礎技能について、巻末に写真で示されている。（P148、P151） オ 様々な年代、国籍など多様な人々が登場し、共生の視点に気づく。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 基礎基本、調理・製作手順動画コンテンツ、「マイめあて」「小課題」「生かす・深める」「ふり返り」などの記入カードが用意されている。 イ 情報収集や意見交流、発表場面のイラストが掲載されており、タブレットを使う場面をイメージできるようにしてある。（P29、P33等）
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 5年生の終わりに1年間の学習をふり返ってSDGsについて考える小単元を設定し、6年生の学習につないでいく工夫がある。 イ 防災については「防災」マークで示し、また、巻末には特集ページで扱っている。 ウ 衣食住に関連する文化について「伝統」という特設ページがある。 エ 各題材中に生活に関わるさまざまなキャリアの方からのメッセージが掲載されているほか巻末にも特集的に取り扱っている。 オ 巻頭に「SDGs」の説明があり、「環境」や「消費」マーク、クローバーを持ったキャラクターが、関連項目にしめしてある。 カ 食事マナーの動画がある。

保 健

教科 体育	種目 保健	番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい保健
-------	-------	------	-------	-------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア ステップ4や章末にデジタルコンテンツ(ワークシート)が用意されていて、学習内容を整理しながら知識の定着を図ることができるようになっている。(3・4年 P12,25等 5・6年 P8,19等)</p> <p>イ 基礎的・基本的な知識が簡潔にまとめられている。また、「まとめる・生かす」段階で自らまとめられるようになっている。</p> <p>ウ 技能に関する実習ページが設けられており、実習の技能を映像で確認できるデジタルコンテンツが用意されている。(5・6年 P16,41)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 1単位時間の構成が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4段階で4ページにまとめて示されている。ステップ2・3を中心に、主体的に思考・判断・表現しながら課題を解決していく学習活動が設けられている。(教科書全体)</p> <p>イ ステップ2・3で「ほかの人の意見を聞いて、考えたことやわかったことを書く」活動が設定されており、仲間と対話的に課題を解決していくことができるように配慮されている。(3・4年 P15,31,35 5・6年 P23,29,33等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 児童の生活場面を想起させる写真やイラストを配置し、児童が身近な例から健康課題に気づき、学習の課題を自分事として捉えることができるよう工夫されている。(3・4年 P13,27 5・6年 P5,13)</p> <p>イ 学習を実生活で生かせるような活動が設定されている。また、次時の学習にいざなうようなコメントが掲載されている。</p> <p>ウ 章末には学習をふり返ろうのデジタルコンテンツに、章の学習を終えて、もっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄が設けられている。(3・4年 P25,42 5・6年 P9,43,76)</p>
配列への配慮と工夫等 内容の構成	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1単位時間で学習した内容を振り返る欄があり、毎時間の学習内容をまとめることができる。(3・4年 P10等)</p> <p>イ 章とびらのつなげのように、その章の学習内容と他教科との関連が示されており、系統性のある指導ができるように配慮されている。(3・4年 P19,32,37,41 5・6年 P6,51,57,76)</p> <p>ウ 学校医や薬剤師等、学校保健の関係者が適宜登場し、専門的な立場からの解説が掲載されている。(3・4年 P23,25 5・6年 P22等)</p>

	<p>⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮</p>	<p>ア 性別、年齢、国籍、障がい、病気等を越えて関わり合う姿が写真やイラスト等で随所に示されている。(3・4年 P8-9 等)</p> <p>イ 「性と自分らしさ」に関する記述がある。</p> <p>ウ UD フォントが使用されている。色覚の多様性に配慮し、配色デザインについて配慮されている。(教科書全体)</p>
<p>その他</p>	<p>⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮</p>	<p>ア 動画やシミュレーション、思考ツール等デジタルコンテンツが豊富に用意されており、簡単に使用できるように配慮されている。(教科書全体)</p> <p>イ 特別支援教育に有効な機能が充実した学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>ウ もっと調べたい時の検索キーワードが紹介されている。(教科書全体)</p>
	<p>⑦今日的な課題への対応や配慮等</p>	<p>ア 各項目の資料を中心に、多くの今日的な課題が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「共生社会」に関し、多様な立場や場面が意図して取り上げられている。(5・6年 P8,26,77) ・「健康を守る」「地域を守る」では、様々な職業や役割を紹介し、キャリア教育や地域への視野につなげるよう配慮している。(5・6年 P73～77 等) <p>イ 男女の表現は、性別の固定観念を生まないように配慮されている。(5・6年 P7 等)</p> <p>ウ 個性や自分らしさの記載が随所にあり、多様性や個人の価値の尊重に配慮されている。(3・4年 P35～38 等)</p> <p>エ 5年「けがの防止」単元の発展として、自然災害によるけがの防止について書かれている。(5・6年 P p36～38)</p>

教科 体育	種目 保健	番号 4	略称 大日本	書名 新版 たのしい保健
-------	-------	------	--------	--------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明記している。</p> <p>イ 各章の終わりに、知識及び技能を定着させるための問題が設定されている。（3・4年 P23,41）（5・6年 P19,39,65）</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 仲間との協働、教師や地域の人との対話、書籍や新聞等を手がかりに、思考を広げ、深めることができるように工夫している。</p> <p>イ 1単位時間の課題解決学習を通して、思考力・判断力・表現力等が総合的に育成されるよう配慮されている。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各学習項目の初めに「つかもう」を設け、折り込みで隠して主体的に学ぶことで、児童の集中力を高め、興味・関心を引き出そうと工夫している。（3・4年 P10,12 5・6年 P10等）</p> <p>イ 各単元の扉の簡単な運動やチャート等を掲載し、ゲームを行うことで自然と学習課題に気づくように設定されている。</p> <p>ウ 学習したことを生活にどのように活かすのか考えさせるために、毎時間の最後に「活かそう」が設定されている。（3・4年 P11 5・6年 P11,13等）</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1単位時間の学習内容が見開き1ページで完結している。</p> <p>イ 巻末ページに次の学年の学習に向けて学びをつなげていく工夫がされている。（巻末ページ）</p> <p>ウ 教科横断的な学習や中学校の学習とのつながりについて、分かりやすく示されている。（3・4年 P26等）（量は少ない）</p> <p>エ 道徳教育との関連を重視した内容になっている。（5・6年 P16等）</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア ユニバーサルデザインに対応し、書体や色使いなど配慮されている。（教科書全体）</p> <p>イ 4年「体の発育・発達」の最後にある「もっと知りたい！」に、「さまざまな性」に関する記述及び「LGBT」の表記がある。（3・4年 P 39）</p> <p>ウ 5年「心の健康」の最後にある「もっと知りたい！」に、ジェンダーに関する記述がある。（5・6年 P 17）</p>

その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 教科書紙面は、活動や解説のまとまりを、デジタル教科書でも見やすいようレイアウトされている。(教科書全体)</p> <p>イ 適切な情報機器の使い方について、発達段階に合わせて分かりやすく示されている。(5・6年 P68 等)</p> <p>ウ 1 単位時間ごとに、二次元コードでウェブコンテンツが示されており、動画やシミュレーションを活用することで、児童の興味・関心を高められるように工夫している。(3・4年 P16 等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDG s について、児童の興味・関心を高められるように保健との関連が示されている。(3・4年 P42,43 等 5・6年 p66,67)</p> <p>イ 3 年生から、感染症を予防するための生活の仕方について触れられている。(3・4年 P16,21 等)</p> <p>ウ 性の多様性について、発達段階に合わせた解説が掲載されている。(3・4年 P39 等)</p> <p>エ 5 年「けがの防止」単元の発展として、自然災害によるけがの防止について書かれている。(5・6年 p34,35)</p>

教科 体育	種目 保健	番号 50	略称 大修館	書名 新 小学校保健
-------	-------	-------	--------	------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 毎時間の学習課題を「きょうの課題」として示し、知識・技能の確実な習得が図られるように配慮されている。(3・4年 P10,14 5・6年 P8等)</p> <p>イ 各章末の「学習をふり返ってみよう」の中で学習した知識が定着しているかどうか確認できるように配慮されている。(3・4年 P24,44 5・6年 P22,44,72)</p> <p>ウ 毎時間の最後にウェブクイズが設定してあり、その時間に学んだ知識の確実な習得を促している。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 毎時間の導入段階「課題をつかもう」で健康課題に目を向けさせる発問が設定され、保健の見方・考え方を働かせて思考できるようにしている。(3・4年 P10,14 5・6年 P8,12,16等)</p> <p>イ 言語活動の充実を図るために、友達と話し合い、互いの考えを共有したり、思考を広げたりする対話的な活動を豊富に設定している。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各単元の最後に、学習したことを自分の生活に生かせるよう、「まとめ 生かそう 伝えよう」が設定されている。(3・4年 P13,15 5・6年 P11,13等)</p> <p>イ 各章末に自分の生活と学んだことを照らし合わせ、特に生かしたいことをまとめる「学習をふり返ってみよう」が設定されている。(3・4年 P24,44 5・6年 P22,44,72)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学習項目が身近な生活の中から課題をつかみ、学習の見通しをもつ（ステップ1）、学習の課題を解決するための活動（ステップ2）、学習をまとめる（ステップ3）の3つのステップで構成してあり、児童が主体的に学ぶことができるように配慮されている。</p> <p>イ 随所に他学年の保健の学習との関連をマークとともに示し、系統性のある指導ができるように配慮している。(3・4年 P19,21,23等 5・6年 P9,14,46,73)</p> <p>ウ 随所に他教科（算数、理科、家庭、社会、道徳）との関連をマークとともに示し、教科横断的な学習ができるように配慮している。(3・4年 P14,16,19,21等 5・6年 P10,11,29,33等)</p>

	<p>⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮</p>	<p>ア UD フォントを採用し、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。(教科書全体)</p> <p>イ 写真やイラストの登場人物は、男女の役割を固定したり、国籍や障がいの有無などに基づく差別や偏見につながったりすることのないように配慮している。(教科書全体)</p> <p>ウ 「仲間とのよりよい関係づくり」や「よりくらしやすい社会を目指して」では、様々な人々や自然との関わり方の視点から構成し、共生への理解が深まるように配慮している。(3・4年 P47,48 5・6年 P73)</p> <p>エ 「よりくらしやすい社会を目指して」という内容があるが、障がいがある人に関する内容のみで、全体的には多様性については弱い。</p>
<p>その他</p>	<p>⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮</p>	<p>ア タブレット学習をサポートするために二次元コードを随所に掲載し、学習に関連する様々なデジタルコンテンツを用紙している。動画 25 本、ウェブサイト 10 点、シミュレーション 2 本 (教科書全体)</p> <p>イ 健康と安全に留意して情報通信ネットワークの適切な活用ができるようになるための内容を随所に配置し、情報リテラシーの育成に資するように工夫している。(3・4年 P17,22 5・6年 P37,54,69)</p>
	<p>⑦今日的な課題への対応や配慮等</p>	<p>ア SDG s を取り上げて、生命を尊び、自然を大切にし、環境保全に寄与する態度を養えるよう配慮している。(5・6年 P73)</p> <p>イ 性についての感じ方にも個人差があること、多様性を尊重していくことの大切さを理解できるように配慮している。(3・4年 P37)</p> <p>ウ ネットワーク犯罪を取り上げて、防止対策の具体的な方法を紹介している。各項目の資料を中心に、多くの今日的な課題が取り上げられている。(5・6年 P37)</p> <p>エ 5年「けがの防止」単元の発展として、自然災害から身を守ることについて書かれている。(5・6年 P42,43)</p>

教科 体育	種目 保健	番号 207	略称 文教社	書名 新わたしたちの保健
-------	-------	--------	--------	--------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	① 「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「ここが大事」を適宜設け、理解させたい内容が明確にされている。(3・4年 P12,23 5・6年 P36等)</p> <p>イ 毎時間「学習のめあて」「本時の Menu」が示されており、見通しをもって学習できるよう工夫されている。(3・4年 P4,8 5・6年 P4等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 毎時間 Mission①②または①～③で構成され、思考しやすいよう工夫されている。(3・4年 P4,5,22～24 5・6年 P16,17等)</p> <p>イ 「もっと考えよう課」の項目で、学習したことについてもっと深く考える内容を紹介し、思考が深まるように工夫している。(3・4年 P17,36 5・6年 P18等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 本時の Menu で Mission「学習内容のキーワード」、Stage「学習活動」「もう一歩先の自分へ この時間のまとめ」と示し、児童が主体的に学習できるようにしている。(3・4年 P24,28 5・6年 P41等)</p> <p>イ 各時間の終わりに「もう一歩先の自分へ この時間のまとめ」の欄を設け、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるように配慮されている。(3・4年 P5,9等 5・6年 P7,11等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1単位時間の流れが「めあての提示」「学習課題の確認」「課題解決に向けて活動」「学習のまとめ」という構成になっている。</p> <p>イ 他学年の保健学習との関連をマークとともに示し、系統性のある指導ができるよう配慮されている。(3・4年 P32等)</p> <p>ウ 学習指導要領の内容に沿って、単元が適切に配置され、系統性を意識した内容となっている。(教科書全体)</p> <p>エ Episode の項目で学習に関連した具体的な活動や専門家のメッセージ等を紹介している。</p> <p>オ 単元の終わりに「これからの自分の課題に考えよう」のページがあり、「わたしのけんこうせん言」「わたしの安全せん言」等自分のこれからの目標を設定できるように配慮されている。(3・4年 P19,37 5・6年 P19,45,81)</p>

	<p>⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮</p>	<p>ア UD フォントを採用し、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。(教科書全体)</p> <p>イ 共生の観点から、思いやりや助け合いの気持ちをもってコミュニケーションをとることの大切さについて触れられている。(5・6年 P7 等)</p> <p>ウ 該当学年に関する漢字については、総ルビにしている。(教科書全体)</p> <p>エ 4年「体の発育・発達」の中で、SDGs と関係づけた「その人らしさを大切に」というページがある。(3・4年 P31)</p>
<p>その他</p>	<p>⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮</p>	<p>ア 「もっと知っところ課」や「つぶやきくん」の項目でもっと知りたい情報のリンク先を二次元コードで示している。(3・4年 P12,16,26,28,33 5・6年 P11,15,16,29,30 等)</p> <p>イ SNS のトラブルについて取り上げ、情報リテラシーの育成に配慮している。(5・6年 P37 等)</p>
	<p>⑦今日的な課題への対応や配慮等</p>	<p>ア 新型コロナ感染症対策について取り上げている。(3・4年 P17)</p> <p>イ SDGs を取り上げて、ジェンダー平等についての態度を養えるよう配慮している。(3・4年 P31 5・6年 P18 等)</p> <p>ウ 防災教育の観点から、地域の安全を守る取り組みについて取り上げている。5年「けがの防止」の発展的な内容として「災害が起きたら、あなたはどうしますか?」という内容があり、自助、共助、公助という3つのポイントが記載されている。(5・6年 P42,43 等)</p> <p>エ 自然災害に備えて自分たちでできることを考えるページが設けられ、日ごろからの備えについて防災対策チェックリストで確認できるようになっている。(5・6年 P36,37)</p> <p>オ 熱中症の危険信号に関わるチェックコーナーが設けられている。(5・6年 P42~44)</p> <p>カ 地震だけでなく、様々な自然災害についての対応や準備を考えさせている。</p>

教科 体育	種目 保健	番号 208	略称 光文	書名 小学保健
-------	-------	--------	-------	---------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各章末に「学習のまとめ」を設け、知識の確実な定着、自己の生活と関連付けて実践する力の育成ができるように配慮されている。(3・4年 P22,40 5・6年 P20,38,64)</p> <p>イ 「やってみよう」の活動を設定し、実習を通して技能の習得ができるように配慮されている。(5・6年 P15,33)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 学習の始めに自分の健康課題に気づかせ、最後の「学んだことを生かそう」で自分の生活を振り返って見直す活動を設定している。(3・4年 P11,13 5・6年 P11 等)</p> <p>イ 話し合う活動を重視し、全単元において児童が思考・判断・表現したことを書くための記入欄を豊富に設けている。(3・4年 P10,26 5・6年 P23,49 等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章ごとの扉に学習内容のイメージがつかめる漫画を掲載し、児童の学習意欲や学びに向かう力を高める工夫をしている。(3・4年 P7,23 5・6年 P7,21,39,53)</p> <p>イ 各単元の冒頭「見つけよう」で、自分の生活を振り返った後に学習の課題を確認することで、見通しをもって自分事として考えることができるよう構成されている。(3・4年 P8,9,12 5・6年 P8)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 主体的・対話的で深い学びとなるよう、各単元を必ず「1 自分の生活を振り返る」「2 学習の課題をつかむ」「3 課題解決に向けて学習活動する」「4 学習をまとめる」「5 自分の生活に生かす」の学習過程で構成している。(教科書全体)</p> <p>イ 体育科の運動領域をはじめ、理科、社会、家庭科、道徳といった他教科・他領域の学習との関連が図れるように、他教科との関連をマークで示し、カリキュラムマネジメントの観点から教科横断的な指導に活用できるように配慮している。(3・4年 P11,17,32,34 等 5・6年 P8,10,15,27,28 等)</p> <p>ウ 各学年で「体づくりの運動」を紹介している。(5・6年 P14 等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UD フォントを採用し、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。(教科書全体)</p> <p>イ 性の多様性にふれて、性的マイノリティの児童が安心して学習に臨めるように必要な配慮をしている。(3・4年 P33 等)</p> <p>ウ 該当学年に関する漢字については、総ルビにしている。(教科書全体)</p>

その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 理解を促し、学習効果や効率を向上する等の目的から、デジタルコンテンツを豊富に用意し、対応する箇所に「デジタル」マークを示している。(3・4年 P8,13,14,16 5・6年 P11,13～16)</p> <p>イ 情報活用や情報モラルに対応した活動や資料を掲載している。(3・4年 P15 5・6年 P34,61)</p> <p>ウ 調べ学習に役立つウェブサイトを随所で紹介している。(3・4年 P10 等)</p> <p>エ 学習者用デジタル教科書を発行予定。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 防犯について、高学年の「けがの防止」の単元だけでなく、中学年の巻頭でも扱っている。(3・4年 P5)</p> <p>イ 運動、食育、睡眠、防犯、防災、情報モラル、ICT、性の悩み、SDG s 等の今日的な課題に対応した情報を豊富に掲載している。(3・4年 P33 等)</p> <p>ウ キャリア教育やオリパラ教育の観点から、スポーツ選手やクリエイターが語るページを設けている。(5・6年 P1,17 等)</p>

教科 体育	種目 保健	番号 224	略称 学研	書名 新・みんなの保健
-------	-------	--------	-------	-------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 1 単位時間で学習した内容を振り返る欄があり、児童が自ら振り返りを行うことで、学習の定着を促すとともに、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。</p> <p>イ 「心の健康」「けがの防止」の単元では、技能が習得できるようにイラストだけでなく、動画が視聴できるように工夫されている。(5・6 年 P20,41,42)</p> <p>ウ 生活や行動の根拠を科学的に認識できるように、「かがくの目」のコーナーが設けられている。(3・4 年 P22,43 等 5・6 年 P55 等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 話し合う、記述する、表現する等コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促すための言語活動を「ピース②(対話的な活動)」を中心に設けている。</p> <p>イ 自らの考えや友達の発言を記録できるように書き込むスペースを十分確保している。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「もっと知りたい・調べたい」を設け、学習したことを広げたり、深めたりすることができる資料を豊富に掲載している。(3・4 年 P24,25,44,45 5・6 年 P44~47,82,83 等)</p> <p>イ 章末の「振り返る・伝える・つなぐ」で身に付けたい資質・能力について自己評価し、学習を振り返ることができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 発展的な見方・考え方ができるように、「ほけんのはこ」が毎時間紹介されている。(3・4 年 P11,15 等 5・6 年 P11,15 等)</p>
配列への配慮と工夫等 内容の構成	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 他教科との関連について「つなぐ」を付し、教科等横断的な視点で学習を進められるよう配慮している。(3・4 年 P7,25 等 5・6 年 P7,25,38)</p> <p>イ 各項目を「導入(課題をつかむ)」「ピース①自ら取り組む活動」「ピース②対話的な活動」「ピース③活用」で構成している。各単元のはじめのページに学習内容の全体像が示されている。(3・4 年 P7,27 5・6 年 P7,25 等)</p> <p>ウ 各項目のはじめに「学習の進め方」「学習の課題」を明示し、児童が見通しをもって学習ができるように配慮されている。</p>

	<p>⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮</p>	<p>ア ユニバーサルデザインの視点から、配色や色、レイアウト表現について分かりやすい内容となるよう配慮している。(教科書全体)</p> <p>イ イラストや図は、男女などの性、外国にルーツを持つ子どもなどの多様性を尊重し、人数や役割、配色などが固定観念を生まないよう配慮されている。(5・6年 P10)</p>
<p>その他</p>	<p>⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮</p>	<p>ア 学びを広げたり深めたりすることに有用なシミュレーションや動画等のデジタル教材を、学習に活用しやすいように掲載している。(3・4年 P9,22,29 5・6年 P20,26,27等)</p> <p>イ 調べ学習に有用なウェブサイトなどを発達段階に応じて厳選し、章のとびらで紹介している。(5・6年 P7等)</p> <p>ウ 3・4年「安全な生活のために②」で、スマートフォンやインターネットを使うときの安全について、5・6年「けがの防止」のうち、犯罪から身を守ることに関連し、インターネットの安全な利用の仕方について取り上げている。(3・4年 P48 5・6年 P 39)</p> <p>エ 発展的な資料として「共に生きる社会に向けて」という内容で、スロープや点字音声案内、多言語表示、色覚、制服の選択自由等についての記載がある。(5・6年 P86)</p>
	<p>⑦今日的な課題への対応や配慮等</p>	<p>ア 「ほけんのはこ」や「もっと知りたい・調べたい」「しりょう」等で現代的な課題を豊富に取り上げている。例：個人差、多様性、ICT、いじめ、防災、防犯、新型コロナウイルス等(3・4年 P3等)</p> <p>イ 「共生社会」に関し、多様な立場や場面が意図して取りあげられている。(5・6年 P86)</p> <p>ウ 「つなぐ 体育とつなげる」を設け、運動領域との関連を図るように取り上げている。(3・4年 P14,41 5・6年 P20,60)</p> <p>エ 5年「けがの防止」の発展的な内容として、地震による災害に対する身の守り方や準備等について記載されている。(5・6年 P 44,45)</p>

英語

教科 外国語	種目 英語	番号 2	略称 東書	書名 NEW HORIZON Elementary English course
--------	-------	------	-------	--

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア Unit のはじめに単元ゴールを映像で確認でき、児童が見通しをもちやすい。</p> <p>イ 毎時間、各見開きに Small Talk のトピックが書かれている。</p> <p>ウ 書くスペースが多く、ワークとして活用できる。</p> <p>エ アルファベットの書き順の例はない。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「Check Your Steps」では、ゴールに向かって思考ツールを使いながら内容を整理し、発表する活動が設定されている。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元の冒頭に3観点の目標を明示している。</p> <p>イ 3観点に即して、学習内容の慣れ親しみから知識技能の習得、思考力・判断力・表現力を働かせる活動へと構成されている。</p> <p>ウ 別冊絵辞書には、2年間の学びを見通すことができるように「CAN-DOの樹」を示している。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1ページあたり1時間を基本とし、全単元見開き4パート構成で一貫させ、学習の流れを見通しやすくしている。</p> <p>イ 5年生は「日本」6年生は「世界」を中心としたテーマ別構成になっている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 4線に書かれた文字の別冊辞書がある。</p> <p>イ 教科書巻末には、活動に使用できるカードなどがついている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 書き込み可能なデジタルワークシートや思考ツールが掲載されている。</p> <p>イ 学習に必要なほとんどの音声や映像を QR コードから視聴できる。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 2学年を通じて SDGs の17の目標に関連した題材を取り上げている。</p>

教科 外国語	種目 英語	番号 9	略称 開隆堂	書名 Junior Sunshine
--------	-------	------	--------	--------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 5年生 Unit3 では教科名に加え6年生で学習する職業名もあり、単語量が多い。 イ アルファベットの書き順はないが、留意する点が記載されている。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「英語を使いながら学ぶ」学習を実現させるために、各単元において、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちなどを伝え合う言語活動が用意されている。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「Let' check」では、年3回ペーパーテストとパフォーマンステストで児童が自分の成長や課題を確かめることができる構成になっている。(5・6年 p.44・47)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 全ての単元が8時間配当となっている。また、すべての単元がほぼ同じ構成で作成されている。 イ ゴールまでの道筋が一目でわかる単元チャートが単元初めのページにかいてあり、どんなことができるようになるのかをつかみ、学習の見通しをもつことができる。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 巻末にミニカードがついており、学習に活用することができる。 イ 別冊の Word Book（辞書）がついている。 ウ 5年 Unit5 の道案内の地図がシンプルに示されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 学習に必要なほとんどの音声や映像を QR コードから視聴できる。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 6年「Story Time」に SDG s について考える物語、目標と解説、日本の取り組み事例が掲載されている。

教科 外国語	種目 英語	番号 15	略称 三省堂	書名 CROWN Jr.
--------	-------	-------	--------	--------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア シンプルな見た目、1時間の流れが視覚的に分かりやすい。 イ 書く活動の大きさはよい。 ウ My dictionary に索引があり(日本語と英語)探す言葉がはっきりしているときに探しやすい。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「JUMP」には深い学びにつながる課題が設定されている。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 単元は HOP,STEP,JUMP の3段階で構成され、見通しをもって学習が進められるように工夫されている。 イ 外国の生活や文化の内容が充実しており、外国語の背景について理解を深められるような工夫がされている。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 単元名の下に Unit のゴールを明示し、右ページには Unit 全体の見通し図で、Unit で学習する内容を把握できるようになっている。 イ 5年生は「紹介しよう」6年生は「伝えよう」Hop, Step, Jump の学期で1つの大きな構成となっている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 4線に書かれた文字の別冊の辞書がある。 イ 教科書の巻末にミニカードとカードがある。 ウ ミニカードは字が小さく、絵が大きい。 エ 活動の内容が定位置(Watch → Listen → Speak)で見通しがもちやすい。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア プログラミング教育との関連で指導できる活動が配置されている。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 他教科及びSDGsとの関連が示されている。

教科 外国語	種目 英語	番号 17	略称 教出	書名 ONE WORLD Smiles
--------	-------	-------	-------	---------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア Let's Say It Together や歌では、ターゲット表現を繰り返し練習できるようにされている。音声のみ表現され、絵と字は表示されない。 イ 4線の上に文字が正しく表記されている。書き順や→の例が載っている。 ウ 巻末にミニカードや活動の後半に使えるような成果物としてのカードやワークシートがついている。
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「Final Activity」では、慣れ親しんだ表現をもとに、コミュニケーションの目的を意識して活動できるように工夫されている。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「Final Activity」では具体物（作品）などが載っており、ゴールの活動がイメージしやすい。
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 単元初めの見開き右側に、ゴールの目標が記載されている。 イ 5年生の内容は、友だちとの関わりが多く、6年生は他者や海外へと内容が広がっている。（5年生では日本でできること、6年生では海外でできることを紹介する内容になっている。）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア アルファベット4線の上に正しく表記されている。4線の間隔がほぼ等しくなっている。 イ ページの読み方が英語表記されている。またページの横にはアルファベットを使ったイラストと、文字が記載されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア QRコードが記載されているが、絵や文字がないと音声のみでは、児童が個別に学習することは難しい。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア Let's Look at the world では、SDGsの目標が添えてある。

教科 外国語	種目 英語	番号 38	略称 光村	書名 Here We Go!
--------	-------	-------	-------	----------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア Let's write and speak (Jump!) の最終活動では、具体的な発表の言葉や、具体物（作品）などが載っており、ゴールの活動がイメージしやすい。</p> <p>イ アルファベットの書き順の例がある。</p> <p>ウ 教室英語や会話で使うことができるうなずきや反応の言葉がまとめて記載しており活用しやすい。</p> <p>エ チャンツの言葉は一部載っており、スピードは調節できない。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「まとめ」の言語活動が各学年に3か所設定され、学んできた表現を発信できるように構成されている。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 聞く→チャンツによる練習→話す→読む・書く活動と、スモールステップを踏んだ活動が組み込まれている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元名の下に Unit のゴールを明示し、右ページには Unit 全体の見通し図で、Unit で学習する内容を把握できるようになっている。(Hop→Step→Jump)</p> <p>イ 5年生は「自分、他者、地域」6年生は「日本、世界、将来」という段階的なテーマで構成されている。中学校の目標も併記され、見通しがもちやすい。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 単語が4線に見やすい大きさと書かれている。</p> <p>イ 別冊の辞書がついている。ミニカードはなし。</p> <p>ウ 色がはっきりしており、見やすい。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア ICT 機器の積極的な活用や、デジタル教科書を使った授業例が紹介されている。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「英語物語」や Let's Watch and think に、関連する SDG s の目標を添えてある。</p>

教科 外国語	種目 英語	番号 61	略称 啓林館	書名 Blue sky elementary
--------	-------	-------	--------	------------------------

項目	観点	特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア JingleやChantで基礎的な語句や表現をおさえた後、それらを使用してリスニング活動やコミュニケーション活動で繰り返し活用しながら身に付けられるようにしている。</p> <p>イ Chantでは、単元でおさえたい表現が明示され、表現の定着が図られるよう配慮されている。(6年 p.17 など)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 児童が場面や状況に応じで、自分が言いたいことを word List などの中から選んで話す活動することによって、思考力、判断力、表現力等を育成できるようにしている。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア Unitのとびらには、Unit全体のめあてと各Stepのめあてを明示し、児童が見通しをもって取り組めるようにしている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア Can Do List では各学年で4技能5領域の目標が確認できるようにしている。(p.130.131)</p> <p>イ 5年生の1学期は3・4年生の内容を引き継いだ自分のこと2学期は他己紹介、丁寧な表現、3学期は世界にも目を向けた内容になっている。</p> <p>ウ 6年生の内容では、身の回りから少し離れたことを知り、自分の意見を伝える内容などを扱っている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 各Unitで活動の位置を固定化し、安心して学習できるようにしている。</p> <p>イ UDフォントや情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストを使用している。</p> <p>ウ 全てのUnitにミニカードがついている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 学習に必要なほとんどの音声や映像をQRコードから視聴でき、個別学習ができるように工夫されている。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 服や持ち物の色、社会的な役割に対して、性別による固定概念とならないように配慮し、Did you know?などで異文化の話題をクイズ形式等で取り上げ、国際理解・異文化理解を深められるようにしている。</p>

道 德

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳	番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい道徳
-------------	-------	------	-------	-------------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 「どんな学びをするのかな？」のページがあり、学習の仕方を確認できる。(全学年 P6-7)</p> <p>イ 「ちょっと話し合ってみよう」のページがあり、話合いの視点が示されている。(2年以上 P8)</p> <p>ウ 心に残ったお話を書くページがある。(1年 P140、5年 P180 等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「自分のこと」「人とのかかわり」「社会とのかかわり」「命、自然、大いなるもの」というカテゴリーで分類してあり、色分けされた目次や内容項目ごとに色分けされたページがある。(全学年 P4-5)</p> <p>イ 「心の力持ちをめざして」をテーマに編集してあり、「安心・安全」、「いじめ」、「情報モラル」、「命」、「自分」の5つのユニットで心の力持ちになろうと目次のページに示してあり、各学年にあった内容が掲載されている。(全学年 P2-3)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 各題材の「考えよう」に、問いや考えること、さらには大切な視点などが示されている。(2年以上)</p> <p>イ 価値理解や友だちのことについて考える手助けとなるよう、直接書き込めるページがある。(4年 P131、5年 P143 等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 各題材の「つながる・広がる」で、考えるヒントや書籍の紹介、動画などを提示している。(1年 P11、2年 P152 等)</p> <p>イ 「つながる・広がる」の拡大版がいくつかあり、物事を多面的に見たり考えたりするのに役立つ知識やワークシートが掲載されている。(3年 P134-135、6年 P102-103 等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 「安心・安全」、「いじめ」、「情報モラル」、「命」、「自分」の5つについて考える「つながる・広がる」のページがどの学年にもある。(1年 P22-23、3年 P72-73 等)</p> <p>イ 自分の考えを確かめたり、深めたりする方法が示されている。(2年 P160、5年 P184-185)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア 何をテーマに何を学ぶかをカテゴリー別にマークで示している。(各題材の上部に提示)</p> <p>イ 身近な友だちの多様性を実感できる絵本が紹介されている。(1年 P74-75、2年 P46-47 等)</p> <p>ウ イラストの中に多様な人種の子どもが登場している。(1年 P120、4年 P108 等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 学びを深めるデジタルコンテンツがあり、朗読・スライドショー・デジタルノートが全ての題材についている。さらに写真や動画、資料を見ることができる題材もある。(4年 P12、6年 P137 等)</p> <p>イ 今日的課題である「安心・安全」、「いじめ」、「情報モラル」、「命」、「自分」について考えるページがある。(3年 P72-73、5年 P62-63 等)</p>

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳	番号 17	略称 教出	書名 小学道徳 はばたこう明日へ
-------------	-------	-------	-------	------------------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 「道徳ではこんな学び方をするよ」「道徳の学習をもっと広げよう」が掲載され、学習の進め方のヒントになっている。(1-2年 P4-5、3-6年 P4-7)</p> <p>イ 教材の最後に振り返りの3観点が示され、振り返りができるようになっている。(3年 P11、4年 P11等)</p> <p>ウ 「かいけつ」や「たいけん」の教材があり、様々な学習方法ができるようになっている。 (1年 P14-17、3年 P59-62等)</p> <p>エ 巻末に切り取りが可能な学習の振り返りページがある。(全学年巻末)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 4つの内容について、道徳で学習することが示されている。(全学年 P2-3)</p> <p>イ それぞれのページが内容によって色分けしてあり、学ぶ内容が一目で分かるようになっている。(全学年各教材の最初のページ)</p> <p>ウ 巻末にそれぞれの教材の4つの内容の分類、各教科との関連が示されている。(1年 P152、3年 P160、5年 P176等)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 教材によっては、最後にキャラクターが道徳的価値について語り、道徳的価値への理解を深めることができるようになっている。(1年 P19.64、5年 P15.55等)</p> <p>イ 「かいけつ」の教材があり、友だちと話し合いながら学習を進めることができるようになっている。 (2年 P26-29、4年 P33-37、6年 P28-32等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「深めよう」の問いかけによって話し合いができるようになっている。(3年 P23、4年 P16等)</p> <p>イ キャラクターの問いかけがあり、考える際のきっかけになっている。(2年 P6、5年 P12等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 教材によっては「つなげよう」で自分事として考えられるような問いかけがある。 (1年 P53、3年 P11、6年 P17等)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア 特に大切にしているテーマとして以下のものが示されている。 低学年「いのちを大切にする」(1年 P90-101、2年 P102-111) 中学年「日本のよさ・世界のよさ」(3年 P20-29、4年 P108-115) 上学年「自然を大切にする」 「人と人とが認め合う社会」(5年 P112-119、6年 P92-95) 「感謝の気持ちをもつ」(6年 P132-139)</p> <p>イ 学年に応じた資料が巻末についている。(礼儀・マナー、SDGs、人権宣言)(2年 P148-151、5年 P172-175、6年 P172-175等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア どの学年にも特に大切にしているテーマとして、「いじめ」「情報」が扱われている。 (2年 P34-43 P58-63、3年 P34-37 P54-63、5年 P34-41 P102-107等)</p> <p>イ どの教材もQRコードにより、追加資料をみることができる。 (5年 P8等各読み物教材先頭)</p> <p>ウ SDGsについて扱われている。(5年 P172-175)</p>

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳	番号 38	略称 光村	書名 きみがいちばんひかるとき
-------------	-------	-------	-------	-----------------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 巻末に自己の学びをシールや文章で記録ができる「学びの記録」があり、今までの学習の振り返りができるようになっている。(全学年巻末)</p> <p>イ 巻頭に、話し合うためのこつが示され、学習の進め方のヒントになっている。(2-6年 P6-7)</p> <p>ウ 初めの教材の下に「道徳の学び方」の流れが示されていて、読む際や考える際の助けになっている。(3-4年 P10-13、5-6年 P10-15)</p> <p>エ 「考えるヒント」が示されている。(1年 P37、3年 P47-48、5年 P32 等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 目次とそれぞれのページが4項目について色分けがしてあり、学習内容が分かりやすい。(目次全学年 P2-3)</p> <p>イ どの学年も最初に、道徳で学ぶ内容や項目がまとめて紹介してあり、道徳で学ぶことの見通しが持てるようになっている。(全学年 P4-5)</p> <p>ウ 各教科との関わりが示されている。(3年 P69、5年 P35 等)</p> <p>エ 大きなテーマ(各学年3つ)にそって4つの内容の教材が配置されている。(目次上部全学年 P2-3)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 「考えよう・話し合おう」の問いかけによって、道徳的価値について迫ることができるようになっている。(1年 P17、3年 P25、5年 P23 等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「考える準備体操」「心を通わそう」などのページがあり、対話を重視した活動を行うことができるようになっている。(3年 P32-33、4年 P66-67 等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 教材の初めにキャラクターの問いかけがあり、自己の生き方を振り返ることができるようになっている。(1年 P16、3年 P18、6年 P16 等)</p> <p>イ 「つなげよう」の問いかけによって、自分事として考えることができるようになっている。(2年 P20、3年 P25、6年 P24 等)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア 中学年から、「ともに生きる」というUDや国際理解などに焦点化したページがある。(3年 P127-135、4年 P133-141、5年 P133-147、6年 P152-165 等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア SDGsについて示されている。(3年 P174-175、4年 P182-183、5年 P190-191、6年 P206-207 等)</p> <p>イ 特定の教材はQRコードで資料の読み取りが可能になっている。(2年 P18.29、4年 P30.36、6年 P25.51 等)</p> <p>ウ どの学年にも「いじめ」「情報」との向き合い方が示されている。(1年 P48-54 P104-108、4年 P40-49 P82-87、6年 P40-53 P87-93 等)</p>

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳	番号 116	略称 日文	書名 小学道徳 生きる力
-------------	-------	--------	-------	--------------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 自主的に学べるよう「道徳の学び方」があり、一単位時間の流れが示されている。(全学年 P4・5)</p> <p>イ 「見つめよう・生かそう」があり、自分を見つめ、今後の生活に生かすことを目的とした問いかけを提示している。 (2年 P7、4年 P9、6年 P9 等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年の内容項目が四つの視点に分類され、かつ色分けがなされている。さらに、3年生以上では、内容を端的に表す言葉を表記することで要点がつかみやすい。(全学年 P2・3)</p> <p>イ 「心のベンチ」において、他教科との関連を示している。 (1年 P22、3年 P34、5年 P18 等)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 各教材に QR コードが示されており、それを読み取ることで教材に関連する資料が閲覧できる。(2年 P6、4年 P6、6年 P6 等)</p> <p>イ 「考えてみよう」があり、ねらいに迫る問いかけを提示している。 (1年 P9、3年 P11、5年 P9 等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「ぐっと深める」において、話し合い活動や書く活動、表現活動等の言語活動を示し、児童一人一人の感じ方や考え方を表現する機会の充実を図っている。 (2年 P28-29、4年 P22-23、6年 P30-31 等)</p> <p>イ 道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるよう教材と関連のある資料を「心のベンチ」として配置している。 (1年 P22-23、3年 P34-35、5年 P18-19 等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 自分の思ったことや考えたことを記録する「道徳ノート」があり、学習を振り返り、深めることができる。(全学年別冊)</p> <p>イ 児童も知っている有名なオリンピック選手や著名人等を教材として配置している。(2年 P34-37、3年 P128-131、5年 P28-31 等)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア 教材の内容がとらえやすくなるよう教材文の始めに、登場人物が挿絵として示されている。(2年 P6、4年 P6、6年 P10 等)</p> <p>イ 教材文中の難しい語句には、解説を記している。 (3年 P6、4年 P100、5年 P64、6年 P18 等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア タブレット等で QR コードを読み取ることで教材に関する資料や動画を視聴することができる。(1年 P8、3年 P6、5年 P6 等)</p> <p>イ 教科書の教材と SDGs (17の目標) との関連を考える「SDGsで考えよう」を設けている。 (3年 P182、4年 P186、5年 P182、6年 P190)</p>

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳	番号 208	略称 光文	書名 小学道徳 ゆたかな心
-------------	-------	--------	-------	---------------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 「道徳の時間は、こんな時間です」があり、自主的に学べるよう一単位時間の流れが示されている。(全学年 P4-5)</p> <p>イ 「広げよう」があり、自分と自分の周りを見つめ、今後の生活に生かすことを目的とした問いかけを提示している。(2年 P13、4年 P27、6年 P21 等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年の内容項目が四つの視点に分類され、かつ色分けがなされている。さらに、内容を端的に表す言葉を表記することで要点がつかみやすい。(全学年 P2-3)</p> <p>イ 巻末に教材一覧があり、そこで他教科との関連を示している。(2年 P172、4年 P184、6年 P188 等)</p> <p>ウ 全学年において、「命をかがやかせる」「いじめを生まない心」を含む3つの重点主題が配置されている。(全学年目次)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 道徳的価値について、より深い理解を促すための関連資料が配置されている。(1年 P14-15、3年 P46-47、5年 P148 等)</p> <p>イ 「考えよう」があり、ねらいに迫る問いかけを提示している。(2年 P13、4年 P19、6年 P21 等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「いろいろなやり方で考えてみよう」において、考えを整理したり、まとめたりする方法が示されている。(全学年 P6-7)</p> <p>イ 「話し合って考えてみよう」において、話し合い活動を深めるための方法が示されている。(全学年 P8)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 学習のまとめやなりたいたい自分を記録する「学びの足あと」があり、学習を振り返ったり、これからの自分を見つめたりすることができる。(全学年巻末)</p> <p>イ 児童も知っている有名な著名人やオリンピック選手等を教材として配置している。(1年 P26-29、5年 P10-13、6年 P14-17 等)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア 教材文の始めに、教材の内容がとらえやすくなるよう登場人物が挿絵として示されている。(2年 P14、4年 P10、6年 P44 等)</p> <p>イ 教材文中の難しい語句には、解説を記している。(3年 P108、5年 P52、6年 P34 等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア QRコードを読み取ることで教材に関連する資料が閲覧できる。(2年 P70、4年 P36、6年 P94 等)</p> <p>イ 全学年にSDGsを扱うページがあり、そこで関連する教材を示したり、自分ができることは何かを問いかけたりしている。(1年 P132-133、3年 P156-157、5年 P164-165 等)</p>

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳	番号 224	略称 学研	書名 新版 みんなの道徳
-------------	-------	--------	-------	--------------

項目	観点	特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	ア 最初に、「つながる私、広がる私」のページがあり、今の自分について見つめることができる。(全学年 P2-3) イ 最後に、「つなげよう、広げよう」のページがあり、道徳の学習を振り返ることができる。(全学年最終ページ)
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 「わたしのこと」「あなたとわたし」「社会とわたし」「いのちや自然とわたし」というカテゴリーで分類してあり、その中でさらに価値づける言葉での分類がされていて、分かりやすい。 (全学年 P6-7)
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	ア 「深めよう」のページがあり、登場人物の気持ちになって考えたり、価値について考えたりする構成になっている。 (2年 P53、6年 P63 等) イ 「考えよう」の問いかけによって、道徳的価値について迫ることができるようになっている。(1年 P12、3年 P12、5年 P12 等)
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	ア ?やハートのマーク、男女の子どものキャラクターなどが吹き出しの中で考えるヒントを提示している。 (1年 P21、3年 P64、4年 P62 等) イ 「深めよう」で、新たに考える視点が示されている。 (3年 P53、5年 P133 等)
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 「心のパスポート」のページがあり、自分の生き方について振り返ったり考えたりできるようになっている。 (4年 P107、6年 P104-105 等)
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	ア 多くの熟語や漢字にふりがなが書かれている。(全学年) イ 何について学ぶか、題材名の上部にマークで示している。 (1年 P10、3年 P14、5年 P10 等) ウ 挿絵がやさしく明るいトーンで描かれている。 (1年 P16、4年 P26、5年 P103 等) エ みらいとあすかという男女の子どものキャラクターが考えるヒントを出すという設定にしてある。(2年 P23、4年 P129 等)
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	ア 学びを深めるデジタルコンテンツがあり、写真や動画、資料を見ることができる。(5年 P142、6年 P106 等) イ 「情報モラル」「地球」「未来へ」等、今日的課題についての題材が多数ある。(4年 P130-133、5年 P112-114、6年 P156-159 等)

特別支援

項目	著作者	文部科学省	文部科学省
		こくご☆、☆☆、☆☆☆	さんすう☆、☆☆(1)、☆☆(2)、☆☆☆
学習方法の工夫について		<ul style="list-style-type: none"> 挿絵が多くあり、文字の習得に困難さがある児童にも取り組みやすくなっている。 片仮名表記の言葉が平仮名表記になっている。(☆・☆☆) 漢字には、ふりがながある。(☆☆☆) 	<ul style="list-style-type: none"> 数や形の概念を形成するため、挿絵が多くある。 透明なシートを活用して、比較や理解を深めるようにしている。 紙に凸凹をつけ、形を触って認識できるページがある。(例えば、☆☆☆69ページ)
内容の構成・配列について		<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて、必要な学習内容が構成・配列されている。 ☆文字はほとんどない。思考力や想像力を養うために、挿絵を活用して取り組む活動になっている。 ☆☆物の名前（言葉とイラストとのマッチング）なぞりや視写、助詞の使い方、後半には、平仮名の書字がある。 ☆☆☆会話文、物語文、説明文、作文、絵日記、手紙文等の内容がある。巻末には、平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「数量の基礎」「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」の領域ごとに内容が構成・配列されている。 ☆1対1対応、形の弁別、大小、3までの数 等 ☆☆(1) 10までの数、合成・分解、順番 等 ☆☆(2) 形、大小、量、形、広さ、長さ 等 ☆☆☆100までの数、位取り、2飛び・5飛び・10のまとまりでの数え方、加減法、お金、表とグラフ、時間と時刻、カレンダー 等
その他		<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が生活に結びつく工夫がされており、自立につながる力が身につくように意図されている。 教科書には、児童が興味を持つ仕掛けがある。(例えば ☆☆☆42ページ) 	
総合所見		<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に応じた内容が領域ごとに系統的にまとめてあり、児童の学習能力や理解の程度に合わせて使用できる。 知的障がい特別支援学校小学部の教育課程に準じた内容を学ぶ児童にとって、学びやすい内容・構成になっている。 	

項目	著作者	文部科学省	文部科学省
		おんがく☆、☆☆、☆☆☆	せいかつ☆、☆☆、☆☆☆
学習方法の工夫について		<ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせて、手遊びや身体表現をする内容が取り入れられている。 メロディーや歌詞、リズム譜、挿絵や写真があり、歌詞や曲をイメージする手がかりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活や学校生活で必要な事項について、様々な場面を取り上げ、写真や挿絵で説明したり、考えたりすることを通して、自立につながる力が身につくようにしている。 発達段階に応じて、学習場面がイメージしやすいような写真や挿絵を掲載している。
内容の構成・配列について		<ul style="list-style-type: none"> 「表現」「鑑賞」の領域で構成・配列されている。 児童に親しみやすい曲やリズムを中心に構成し、季節や生活に結びついた曲も多く扱っている。 日本の伝統楽器に触れる教材がある。 <p>☆手遊び、身体表現、歌唱 ☆☆リズム譜打ち、階名、打楽器 ☆☆☆楽器の紹介、打楽器と鍵盤楽器の合奏、音符、音楽作り、鑑賞曲</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ア基本的な生活習慣」「イ安全」「ウ日課・予定」「エ遊び」「オ人との関わり」「カ役割」「キ手伝い・仕事」「ク金銭の扱い」「ケきまり」「コ社会の仕組みと公共施設」「サ生命・自然」「シものの仕組みと働き」の12の内容から構成されている。 実際の生活場面に即しながら、繰り返し学習し、必要な知識や技能等を身に付けられるよう継続的、段階的な指導をする内容・配列になっている。 <p>☆ほぼ挿絵が中心であるが、「きせつとあそぼう」に写真が使っている。会話は、吹き出しになっている。</p> <p>☆☆物の名前や会話、様子がわかる言葉は、挿絵に平仮名と片仮名で表記されている。</p> <p>☆☆☆初めてできた漢字にはふりがながある。（漢字は小1で習う漢字程度）</p>
その他		<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が生活に結びつく工夫がされており、自立につながる力が身につくように意図されている。 「せいかつ」は、中学部における社会や理科につながる内容等、他教科との関連を踏まえている。 	
総合所見		<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に応じた内容が領域ごとに系統的にまとめてあり、児童の学習能力や理解の程度に合わせて使用できる。 知的障がい特別支援学校小学部の教育課程に準じた内容を学ぶ児童にとって、学びやすい内容・構成になっている。 実際の生活場面に即しながら、繰り返し学習し、必要な知識や技能等を身に付けられるよう継続的、段階的な指導に使用できる。 	

発行者 項目	童話館出版	プレジデント社	小峰書店
		<p>気持ちの本 1,400円+税</p> <p>初版年/出版年 2003年初版</p>	<p>THE STORY OF THE ORCHESTRA 名曲を聴きながら旅する オーケストラの絵本 2,500円+税</p> <p>初版年/出版年 2014年初版</p>
内容の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 人の感情表現について、気持ちを表す言葉が説明されている。 挿絵と本文の内容が、直接関係しているものではない。 児童と指導者が一緒に読みながら、話し合う内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作曲者、楽器ごとにページに色分けがしてある。 それぞれのページには、付録のCDのどこを聞けば良いかわかるようになっている。 1ページに作曲家とエピソード、イラスト、CDトラックの説明が書いてある。 パートIでは作曲家、パートIIでは、オーケストラで使われる楽器を説明している。 楽器の写真が大きく細かに呼び方の説明がしてある。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な材料で、誰でも作れるように説明している。 用意するものや作り方は、囲みの中に書いてある。 作り方の順番に番号がある。 挿絵は大きく、完成した様子や遊び方も書いてある。
内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> 本の最初のページに出てくる漢字にはふりがながあるが、それ以降は同じ漢字にふりがながない。 ソーシャルスキルを学ぶ内容である。 1ページの文字が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ふりがながついてない漢字もある。 1ページあたりの情報量が多い。 クラシック、楽器に興味を持っている人に向けた絵本である。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容は、平仮名、片仮名で書いてある。 大人向けのところは、漢字表記もある。 例えば「かざぐるま」は、材料によって、6種類の作り方を示すなど、多種多様な作り方を紹介している。
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> 24cm×20cm ・40ページ（カラー印刷） 10～20ポイント・明朝、ゴシック体・厚口 	<ul style="list-style-type: none"> 26cm×26cm ・93ページ（カラー印刷） 10～20ポイント ・ゴシック体 ・厚口 	<ul style="list-style-type: none"> 26cm×18.5cm ・119ページ（2色印刷） 10～20ポイント ・ゴシック体 ・厚口
発達年齢等 教科・領域	<ul style="list-style-type: none"> 小学校低学年～ 自立活動・道徳 個別学習、一斉学習 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校高学年～ 音楽 国語 個別学習、一斉学習 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校低学年～ 図工 特別活動 生活科 個別学習、一斉学習
総合所見	<p>一般図書については、児童生徒の発達・学習状況等をもとに個別に採択されるため、計画的に見直しを行い、適切な活用をすることが望ましい。</p>		